

ESOTERIC

N-05XD

NETWORK DAC/PREAMP

取扱説明書

エソテリック製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

エソテリック製品は、最良の音質で末永くお使いいただくために、一台一台を厳しい品質管理のもとに製造しております。最良のコンディションでお使いいただくために、ご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みください。また、お読みになったあとは、いつでも見られるところに保証書と一緒に大切に保管してください。

末永くご愛用くださいますよう、お願い申し上げます。

取扱説明書は、ESOTERIC ウェブサイト (<https://www.esoteric.jp/jp/>) からダウンロードすることができます。

本機を使用するには、専用アプリ（無償）をインストールしたタブレット / スマートフォンを同一ネットワークに接続する必要があります。

目 次

お使いになる前に	4	設定 2	30
付属品の確認	4	PCM 再生時のデジタルフィルター設定	30
設置について	4	PCM 再生時の $\Delta\Sigma$ 周波数設定	30
お手入れ	5	DSD 再生時のデジタルフィルター設定	31
使用上の注意	5	ETHERNET 端子の LED 設定	31
電源の極性について	5	ネットワーク入力回路電源設定	31
電波について	6	Bluetooth モジュール常時動作設定	31
MQA (Master Quality Authenticated)	6	ファームウェアのバージョン表示	31
安全にお使いいただくために	7	設定 3 表示	31
アンプとの接続	10	RAAT モード	32
ES-LINK Analog で接続する	11	設定 3	33
ES-LINK Analog について	11	アナログ音声出力レベル設定	33
インテグレートッドアンプと		スルーアウト出力設定	33
ES-LINK Analog で接続する場合	11	ミュートレベル設定	34
パワーアンプと ES-LINK Analog で接続する場合	11	リモコンの AMP ボタン設定	34
ソース機器との接続	12	リモコン入力端子 (RS-232C) 設定	34
ネットワークと USB の接続	14	トリガー信号出力設定	34
ヘッドホンの接続	16	トリガースタートソース設定	34
リモコンについて	17	困ったときは	35
各部の名称 (リモコン)	18	一般	35
ディマー	19	クロック同期	35
各部の名称 (本体)	20	ネットワーク再生	35
基本操作	21	パソコンとの USB 接続	35
ネットワークプレーヤー機能を使用する	22	Bluetooth 接続	36
USB DAC 機能を使用する	23	出荷時の状態に戻すには	36
対応 OS	23	仕 様	37
ドライバのインストール	23	保証とアフターサービス	39
再生アプリケーションソフト		寸法図	40
「ESOTERIC HR Audio Player」のダウンロード	23	ソフトウェアに関する重要なお知らせ	41
音楽ファイルを再生する	24		
Bluetooth® 機能を使用する	25		
Bluetooth® 無線通信について	25		
Bluetooth 機器とペアリングする	26		
Bluetooth 機器を再生する	26		
設定モード	27		
設定のしかた	27		
設定 1	28		
L/R バランス調整	28		
入力ゲイン調整	28		
クロック設定	28		
音量表示設定	29		
ヘッドホン最大音量設定	29		
アナログ音声出力設定	29		
ディスプレイ自動消灯設定	29		
オート・パワー・セーブ設定	30		

注意

本機のアナログ音声出力端子 (LINE OUT) は、選択した端子 1 系統からのみ信号を出力します。

最初にアナログ出力設定をしてからご使用ください。

設定方法は、27 ページの「設定モード」、29 ページの「アナログ音声出力設定」と 33 ページの「アナログ音声出力レベル設定」をお読みください。



MQA and the Sound Wave Device are registered trade marks of MQA Limited.© 2016

ROON
READY

Being Roon Ready means that ESOTERIC uses Roon streaming technology, for an incredible user interface, simple setup, rock-solid daily reliability, and the highest levels of audio performance, without compromise.



The Bluetooth® word mark and logos are registered trademarks owned by Bluetooth SIG, Inc. and any use of such marks by TEAC CORPORATION is under license.

Qualcomm aptX is a product of Qualcomm Technologies, Inc. and/or its subsidiaries.

Qualcomm is a trademark of Qualcomm Incorporated, registered in the United States and other countries. aptX is a trademark of Qualcomm Technologies International, Ltd., registered in the United States and other countries.

LDAC™ および LDAC ロゴは、ソニー株式会社の商標です。

“DSD” is a registered trademark.

Microsoft and Windows are either registered trademarks or trademarks of Microsoft Corporation in the United States and/or other countries.

Apple, Mac, OS X and macOS are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.

App Store is a service mark of Apple Inc.

iOS is a trademark or registered trademark of Cisco in the U.S. and other countries and is used under license.

Android is a trademark of Google Inc.

お使いになる前に

付属品の確認

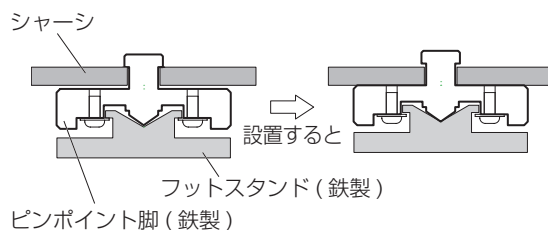
万一、付属品に不足や損傷がありましたら、お買い上げになった販売店または弊社 AV お客様相談室 (54 ページに記載) にご連絡ください。

- 電源コード × 1
- リモコン (RC-1334) × 1
- リモコン用乾電池 (単 3) × 2
- フェルト × 3
- 取扱説明書 (本書) × 1
- ご愛用者カード × 1

設置について

本機の底板には、高精度の鉄製ピンポイント脚が取り付けられています。

ピンポイント脚とフットスタンドは、ぐらついた状態になっていますが、設置するとピンポイント支持になり、振動を効果的に分散させます。



- 設置面を傷付けたくない場合は、フットスタンドの裏に付属のフェルトを貼ってお使いください。

Google Play は、Google Inc. の商標です。

Wi-Fi は Wi-Fi Alliance の登録商標です。

ESOTERIC およびエソテリックは、ティアック株式会社の登録商標です。

その他、記載されている会社名、製品名、ロゴマークは各社の商標または登録商標です。

オープンソースに関する著作権およびライセンスは、巻末の「ソフトウェアに関する重要なお知らせ」に記載します。

お手入れ

製品表面の汚れは、乾いた柔らかい布で拭いてください。
ひどい汚れのときは、固く絞った布で水拭きしてください。

ゴムやビニール製品を長時間触れさせると、キャビネットを傷めることがありますので避けてください。化学ぞうきんやベンジン、シンナーなどで拭かないでください。表面を傷める原因となります。

⚠️ お手入れは安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

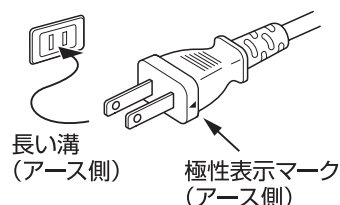
使用上の注意

- 本機の上には物を置かないでください。
- 直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が高くなる場所に置かないでください。また、アンプなど熱を発生する機器の上には置かないでください。
- 安定した場所に設置してください。

電源の極性について

付属の電源コードのプラグ部分の極性表示マーク（▲）は、本機のアース側を示しています。一般的に、家庭用電源コンセントの差し込み口は、長い溝の方がアース側です。

接続時の電源プラグの差し込む向き（極性）によって、音質が変わることがあります。お好みの音質となる向きで接続してください。



音のエチケット

楽しい音楽も、場合によっては大変気になるものです。静かな夜間には小さな音でもよく通り、隣近所に迷惑をかけてしまうことがあります。

適当な音量を心がけ、窓を閉めたりヘッドホンを使用するなどして、お互いに快適な生活環境を守りましょう。このマークは音のエチケットのシンボルマークです。



電波について

- 本機は電波法に基づく小電力データ通信システム無線局設備として技術基準適合証明を受けています。従って、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。ただし、以下の事項を行うと、法律で罰せられることがあります。

- ・ 分解 / 改造すること
- ・ 本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと



2.4：2.4GHz 帯を使用する無線機器です。

FH：FH-SS 変調方式を表します。

1：与干渉距離は 10m です。

本製品は日本国内でのみご使用ください。

- 本機は電波を使用しているため、第三者が故意または偶然に傍受することが考えられます。
重要な通信や人命にかかわる通信には使用しないでください。
通信時に、データや情報の漏洩が発生しても責任を負いかねます。予めご了承ください。
- 次の場所では本機を使用しないでください。
再生音が途切れたり、ノイズが出る場合があります。
 - ・ 2.4GHz 用周波数帯域を利用する、無線 LAN、電子レンジ、デジタルコードレス電話、Bluetooth などの機器の近く。
電波が干渉して音が途切れることがあります。
 - ・ ラジオ、テレビ、ビデオ機器、BS/CS チューナーなどのアンテナ入力端子を持つ AV 機器の近く。
音声や映像にノイズがのることがあります。

本機使用上の注意

本機の使用周波数は 2.4GHz 帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、免許を要する工場の製造ラインで使用されている移動体識別用の構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局や免許を要するアマチュア無線局などが運用されています。他の機器との干渉を防止するために、以下の点に十分ご注意ください。

- ・ 本機を使用する前に、近くで他の無線局が運用されていないことを確認してください。
- ・ 万一、本機と他の無線局との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の使用場所を変えるか、使用を停止してください。
- ・ 不明な点その他にお困りのことが起きたときは、お買い上げの販売店または、弊社 AV お客様相談室（裏表紙に記載）へお問い合わせください。

MQA (Master Quality Authenticated)

MQA は、英国が誇るオリジナルマスター録音のサウンドを実現する技術として高く評価されています。マスター MQA ファイルは完全に認証され、ストリーミングまたはダウンロードに適したコンパクトなファイルサイズが特長です。







詳細は、www.mqa.co.uk をご覧ください。

N-05XD は MQA に対応しており、MQA オーディオ・ファイル、MQA ストリーミングの再生が可能で、オリジナルマスター録音のサウンドをお届けします。



「MQA」または「MQA.」の表示は、本機が MQA ストリームまたは MQA ファイルをデコードし、再生していることを示し、音声元が元の音源と同一であることが保証されていることを示します。「MQA.」は、スタジオでアーティスト / プロデューサーによって承認されたか、または著作権所有者によって確認された MQA スタジオファイルを再生していることを示すものです。






安全にお使いいただくために


製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の注意事項をよくお読みください。

	警告 以下の内容を見逃して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 電源プラグをコンセントから抜く	<p>万一、異常が起きたら 煙が出たり、変なにおいや音がするときは 機器の内部に異物や水などが入ったときは この機器を落としたり、カバーを破損したときは すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。 異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。 販売店またはティアック修理センター (54 ページ) に修理をご依頼ください。</p>
 禁止	<p>電源コードを傷つけない 電源コードの上に重いものをのせたり、コードを壁や棚との間に挟み込んだり、本機の下敷きしない 電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、熱器具に近づけて加熱したりしない コードが傷んだまま使用すると火災・感電の原因となります。 万一、電源コードが破損したら (芯線の露出、断線など)、販売店またはティアック修理センター (54 ページ) に交換をご依頼ください。</p> <p>付属の電源コードを他の機器に使用しない 故障、火災、感電の原因となります。</p> <p>交流 100 ボルト以外の電圧で使用しない この機器を使用できるのは日本国内のみです。表示された電源電圧 (交流 100 ボルト) 以外の電圧で使わないでください。また、船舶などの直流 (DC) 電源には接続しないでください。火災・感電の原因となります。</p> <p>この機器を設置する場合は、放熱をよくするために、壁や他の機器との間は少し (20cm 以上) 離して置く ラックなどに入れるときは、機器の天面から 5cm 以上、背面から 10cm 以上のすきまをあげる すきまをあげないと内部に熱がこもり、火災の原因となります。</p> <p>この機器の通風孔などから内部に金属類や燃えやすい物などを差し込んだり、落としたりしない 火災・感電の原因となります。</p> <p>この機器の通風孔をふさがない 通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。</p> <p>イヤホンやヘッドホンからの過度の音圧は、聴覚障害の原因となります。聴覚障害の可能性を防ぐために、長時間、高音で聴かないで下さい。</p>
	<p>イヤホンやヘッドホンからの過度の音圧は、聴覚障害の原因となります。聴覚障害の可能性を防ぐために、長時間、高音で聴かないで下さい。</p>
 指示	<p>電源プラグにほこりをためない 電源プラグとコンセントの周りにゴミやほこりが付着すると、火災・感電の原因となります。 定期的 (年 1 回くらい) に電源プラグを抜いて、乾いた布でゴミやほこりを取り除いてください。</p>
 禁止	<p>機器の上に花びんや水などが入った容器を置かない 内部に水が入ると火災・感電の原因となります。</p>

安全にお使いいただくために（続き）

	<p>警告 以下の内容を見無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。</p>
 分解禁止	<p>この機器のカバーは絶対に外さない カバーを開けたり改造すると、火災・感電の原因となります。 内部の点検・修理は販売店またはティアック修理センター（54 ページ）にご依頼ください。</p> <p>この機器を改造しない 火災・感電の原因となります。</p>

	<p>注意 以下の内容を見無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。</p>
 電源プラグをコンセントから抜く	<p>移動させる場合は、電源のスイッチを切るか、またはスタンバイにし、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続ケーブルを外す ケーブルが傷つき、火災・感電の原因や、引っ掛けてけがの原因になることがあります。</p> <p>旅行などで長期間この機器を使用しないときやお手入れの際は、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜く 通電状態の放置やお手入れは、漏電や感電の原因となる場合があります。</p>
 指示	<p>オーディオ機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続する また、接続は指定のケーブルを使用する</p> <p>電源を入れる前には、音量を最小にする 突然大きな音が出て聴力障害などの原因となる場合があります。</p> <p>この機器は約 13.8 kg あり大変重いので、開梱や持ち運びの際はけがをしないように注意する。</p> <p>この機器はコンセントの近くに設置し、電源プラグは簡単に手が届くようにする 異常が起きた場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、完全に電源が切れるようにしてください。</p> <p>この機器には、付属の電源コードを使用する それ以外の物を使用すると、故障、火災、感電の原因となります。</p>
 禁止	<p>ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない 湿気やほこりの多い場所に置かない。風呂、シャワー室では使用しない 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所に置かない 火災・感電やけがの原因となる場合があります。</p> <p>電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない コードが傷つき、火災・感電の原因となる場合があります。 必ずプラグを持って抜いてください。</p>
 禁止	<p>濡れた手で電源プラグを抜き差ししない 感電の原因となる場合があります。</p>

 愛情点検	<p>電源コードや本体に異常がないか、定期的に点検してください。 内部にほこりがたまったら、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となる場合があります。 特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行くと、より効果的です。 5 年に 1 度は、販売店またはティアック修理センター（54 ページ）に内部の点検をご依頼ください。 費用についてはお問い合わせください。</p>
--	--

電池の取り扱いについて

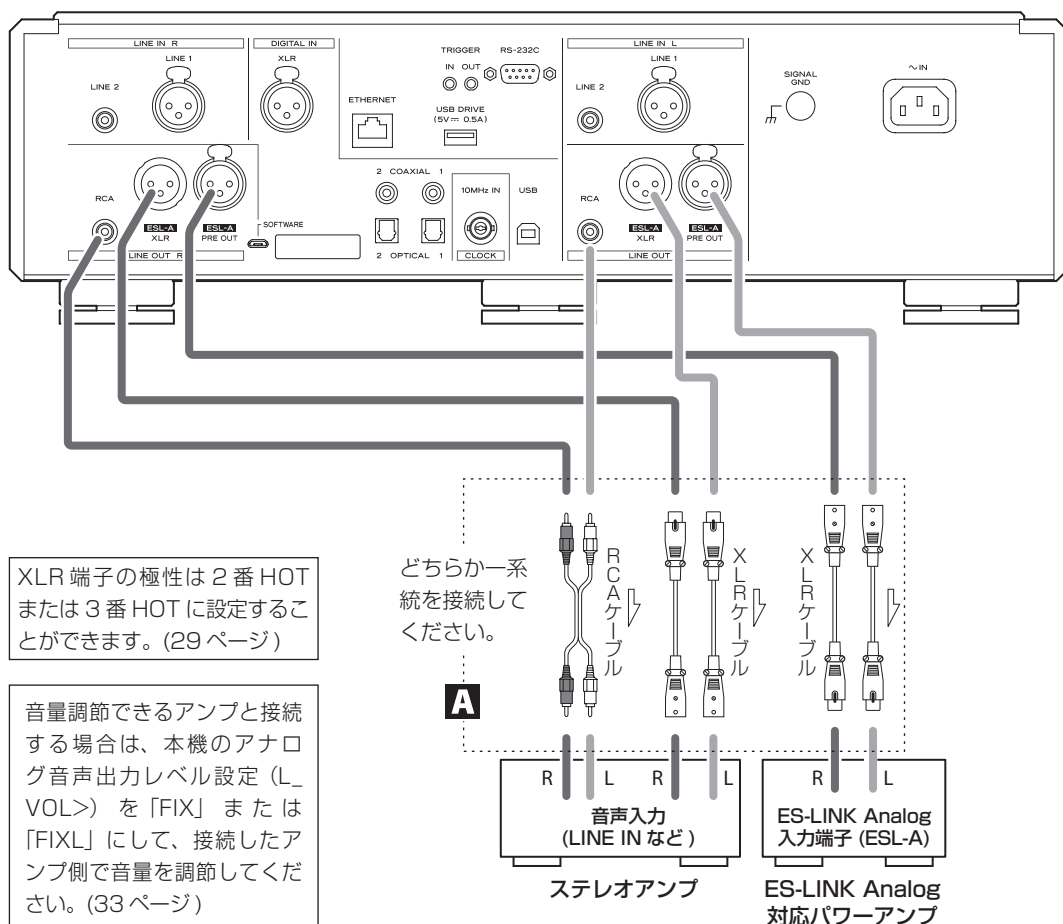
本製品は電池を使用しています。誤って使用すると、発熱、発火、液漏れなどの原因となりますので、以下の注意事項を必ず守ってください。

 警告 乾電池に関する警告	
 禁止	<p>乾電池は絶対に充電しない。 破裂、液もれにより、火災・けがの原因となります。</p>
 警告 電池に関する警告	
 強制	<p>電池を入れるときは、極性表示（プラス ⊕ とマイナス ⊖ の向き）に注意し、電池ケースに表示されているとおりに正しく入れる。 間違えると電池の破裂、液漏れにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。</p>
	<p>長時間使用しないときは電池を取り出しておく。 液が漏れて火災、けが、周囲を汚損する原因となることがあります。もし液が漏れた場合は、電池ケースに付いた液を良く拭き取ってから新しい電池を入れてください。また、万一漏れた液が身体に付いたときは、水で良く洗い流してください。</p>
 禁止	<p>指定以外の電池は使用しない。 新しい電池と古い電池、または種類の違う電池を混ぜて使用しない。 破裂、液漏れにより、火災、けがや周囲を汚損することがあります。</p>
	<p>炎天下の車内や暖房器具のそばなど、温度が高くなるところで保管しない 本体の変形によるショートや発火、故障、電池の劣化の原因となります。</p>
 注意 電池に関する注意	
 禁止	<p>金属製の小物類と一緒に携帯、保管しない。 ショートして液漏れや破裂などの原因となることがあります。</p>
	<p>電池を熱したり、火または水に投げ入れたりしない 電池の破裂、液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。</p>
 分解禁止	<p>分解しない。 電池内の酸性物質により、皮膚や衣服を損傷する恐れがあります。</p>

アンプとの接続

⚠ 接続時の注意

- 全ての接続が終わってから電源プラグを差し込んでください。
- 接続する機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続してください。



A アナログ音声出力端子 (LINE OUT)

2 チャンネルのアナログ音声を出力します。XLR 端子または RCA 端子をアンプと接続してください。

接続には市販のケーブルをお使いください。

ESL-A/XLR, ESL-A PRE OUT : XLR ケーブル
RCA : RCA ケーブル

本機の R 端子とアンプの R 端子、本機の L 端子とアンプの L 端子をそれぞれ接続してください。

接続した端子に合わせて、アナログ音声出力設定 (29 ページ) とアナログ音声出力レベル設定 (33 ページ) を行ってください。

- アナログ音声出力設定は、XLR (極性は 2 番 HOT または 3 番 HOT)、RCA および ESL-A から選択できます。(29 ページ)

- 本機と ES-LINK Analog 端子 (ESL-A) があるアンプを接続する場合は、本機のアナログ音声出力端子 (ESL-A) とアンプの ES-LINK Analog 端子 (ESL-A) を接続することを推奨します。(11 ページ)

注意

本機の ESL-A PRE OUT 出力端子は、XLR 出力端子との誤配線を防ぐためにメス型コネクタになっています。

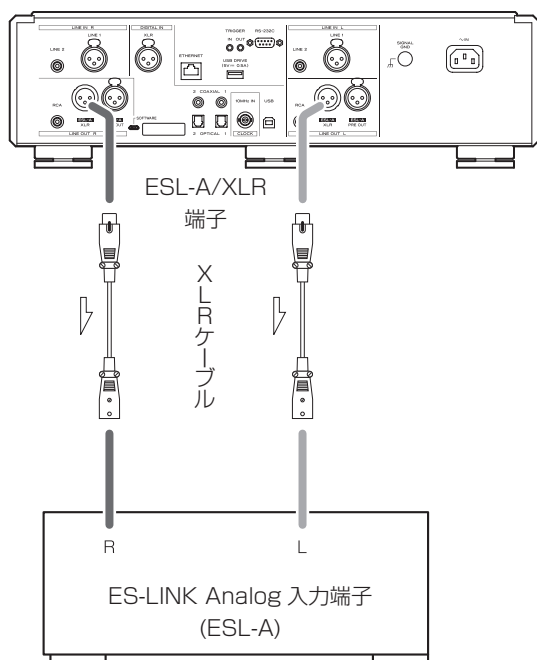
ES-LINK Analog で接続する

ES-LINK Analog について

エソテリック独自の伝送方式である「ES-LINK Analog」は、ハイスピードで強力な電流供給能力を誇る HCLD バッファ回路の性能を生かした電流伝送方式により、信号経路のインピーダンスの影響を受けにくく、信号をピュアに力強く伝送することが可能です。

- 接続ケーブルは一般的なバランスケーブル (端子形状:XLR) ですが、独自伝送方式のため、対応する機器以外ではご使用できません。

インテグレートッドアンプと ES-LINK Analog で接続する場合



ES-LINK Analog 対応インテグレートッドアンプ

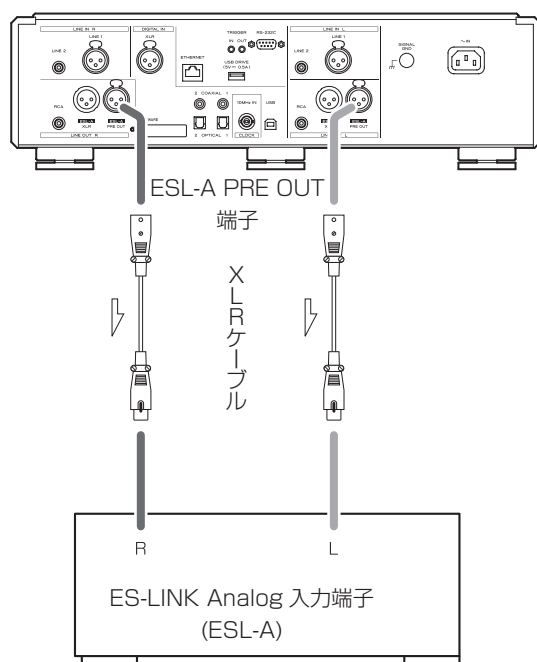
本機のアナログ音声出力端子 (ESL-A/XLR) とインテグレートッドアンプの ES-LINK Analog 入力端子 (ESL-A) を XLR ケーブルで接続します。

- 本機のアナログ音声出力設定 (LOUT>) を「ESLA」にしてください。(29 ページ)
- インテグレートッドアンプの入力切換を「ESLA」に設定してください。
- 本機のアナログ音声出力レベル設定 (L_VOL>) を「FIX」または「FIXL」にして、インテグレートッドアンプで音量を調節してください。

メモ

XLR や RCA でも接続することができます。お好みの音質の接続を選んでご使用ください。

パワーアンプと ES-LINK Analog で接続する場合



ES-LINK Analog 対応パワーアンプ

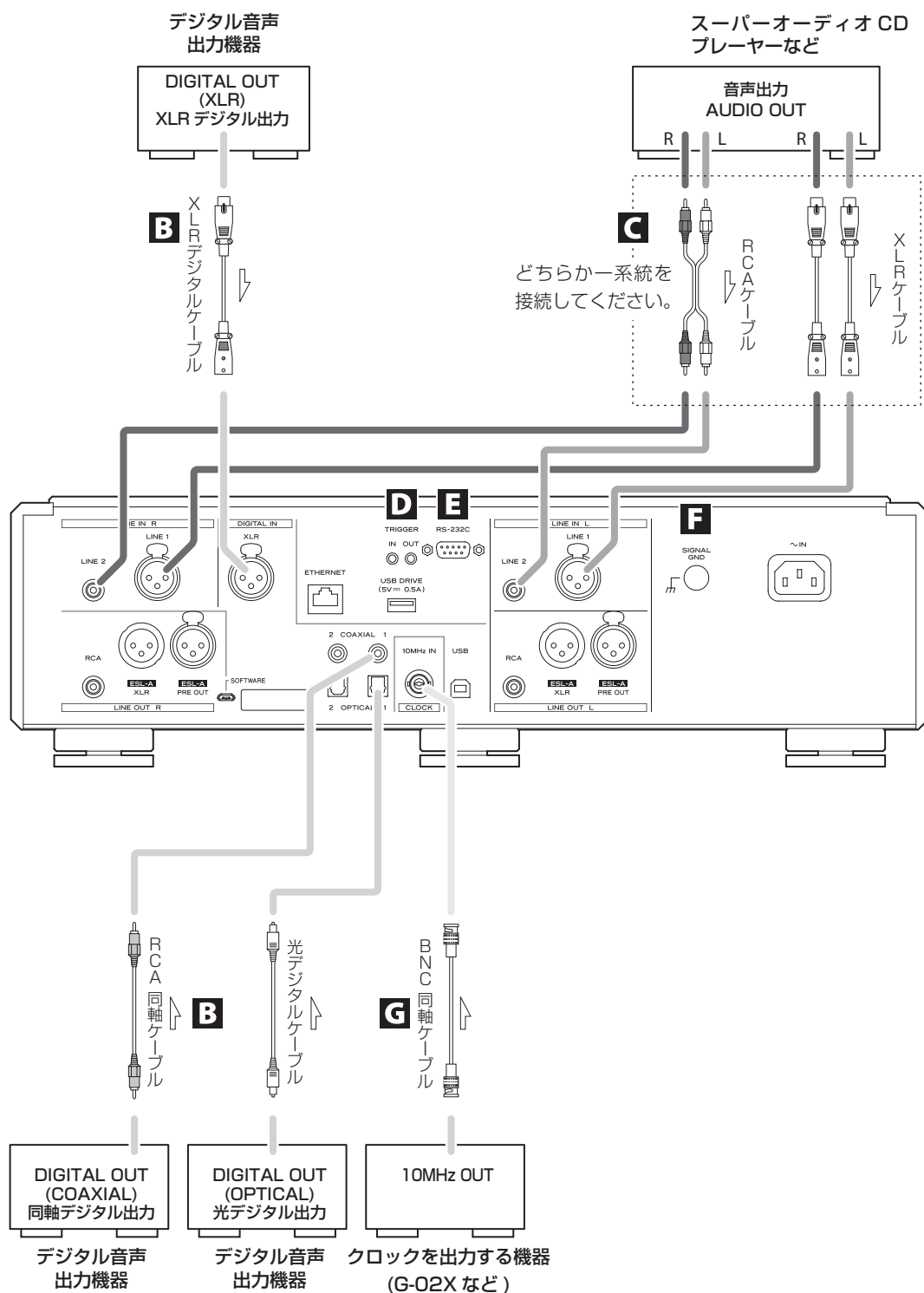
本機のアナログ音声出力端子 (ESL-A PRE OUT) とパワーアンプの ES-LINK Analog 入力端子 (ESL-A) を XLR ケーブルで接続します。

- パワーアンプの入力切換を ESL-A に設定してください。
- 音量は、本機の音量つまみ (VOLUME) で調節します。
- 本機のアナログ音声出力レベル設定 (L_VOL>) を「ON」にしてください。(33 ページ)

注意

本機の ESL-A PRE OUT 出力端子は、XLR 出力端子との誤配線を防ぐためにメス型コネクターになっています。

ソース機器との接続



B デジタル音声入力端子 (DIGITAL IN)

デジタル音声を入力します。
デジタル音声出力機器のデジタル音声出力端子と接続してください。

以下の接続には市販のケーブルをお使いください。

XLR : XLR デジタルケーブル
RCA : RCA 同軸デジタルケーブル
OPTICAL : 光デジタルケーブル (TOS)

- 32kHz ~ 192kHz、16bit、24bit の信号が受信できます。

C アナログ音声入力端子 (LINE IN)

スーパーオーディオ CD プレーヤー、DVD プレーヤー、カセットデッキ、チューナーなどのアナログ音声出力端子と接続してください。

本機の R 端子と出力機器の R 端子、本機の L 端子と出力機器の L 端子をそれぞれ接続してください。

以下の接続には市販のケーブルをお使いください。

XLR : XLR ケーブル
RCA : RCA ケーブル

D トリガー端子 (TRIGGER)

電源をコントロールするための端子です。
この端子を使わないときは何も接続しないでください。

E リモコン入力端子 (RS-232C)

専門業者 (カスタムインストーラー) 用のコントロール端子です。

F アース端子 (SIGNAL GND)

アンプなど、本機と接続する機器とアース接続をすると、音質が良くなることがあります。

- 安全アースではありません。

G クロック入力端子 (CLOCK)

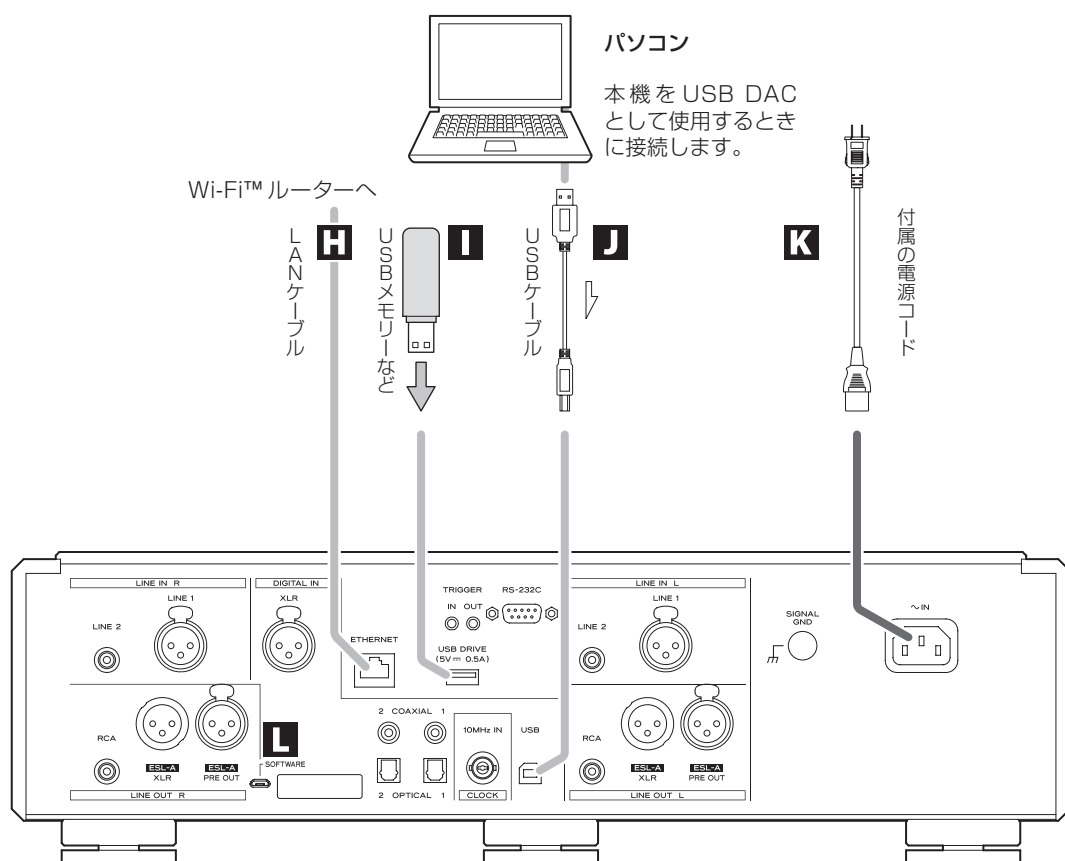
クロック入力端子 (10MHz IN) に 10MHz の同期信号 (クロック) を入力します。

クロック同期させる場合は、クロックを出力する機器のクロック出力端子と本機のクロック入力端子 (10MHz IN) を接続して、クロック設定 (CLK>) を「IN」に設定してください。(28 ページ)

接続には市販の BNC 同軸ケーブルをお使いください。

- BNC 同軸ケーブルはインピーダンス 50Ω または 75Ω のものがお使いいただけます。

ネットワークと USB の接続



H ETHERNET 端子

LAN ケーブルを使って、ネットワークに接続してください。
接続には市販の LAN ケーブルをお使いください。

I USB ドライブ端子 (USB DRIVE)

音楽ファイルが保存されている USB メモリーなどを接続してください。

- この端子は、接続した USB メモリーなどに保存された音楽ファイルを再生するために使用します。
- USB ドライブ端子に接続した USB メモリーなどの音楽ファイルを再生するときは、入力ソースを NET にして、アプリを使って再生してください。(22 ページ)

J USB 端子

パソコンのデジタル音声を入力します。パソコンの USB 端子と接続してください。

接続には市販の USB ケーブルをお使いください。

- 接続の前に 23 ～ 24 ページの注意をよくお読みください。

K AC インレット (～ IN)

付属の電源コードを差し込んでください。
全ての接続が終わったら、電源プラグを 100V AC の電源コンセントに差し込んでください。

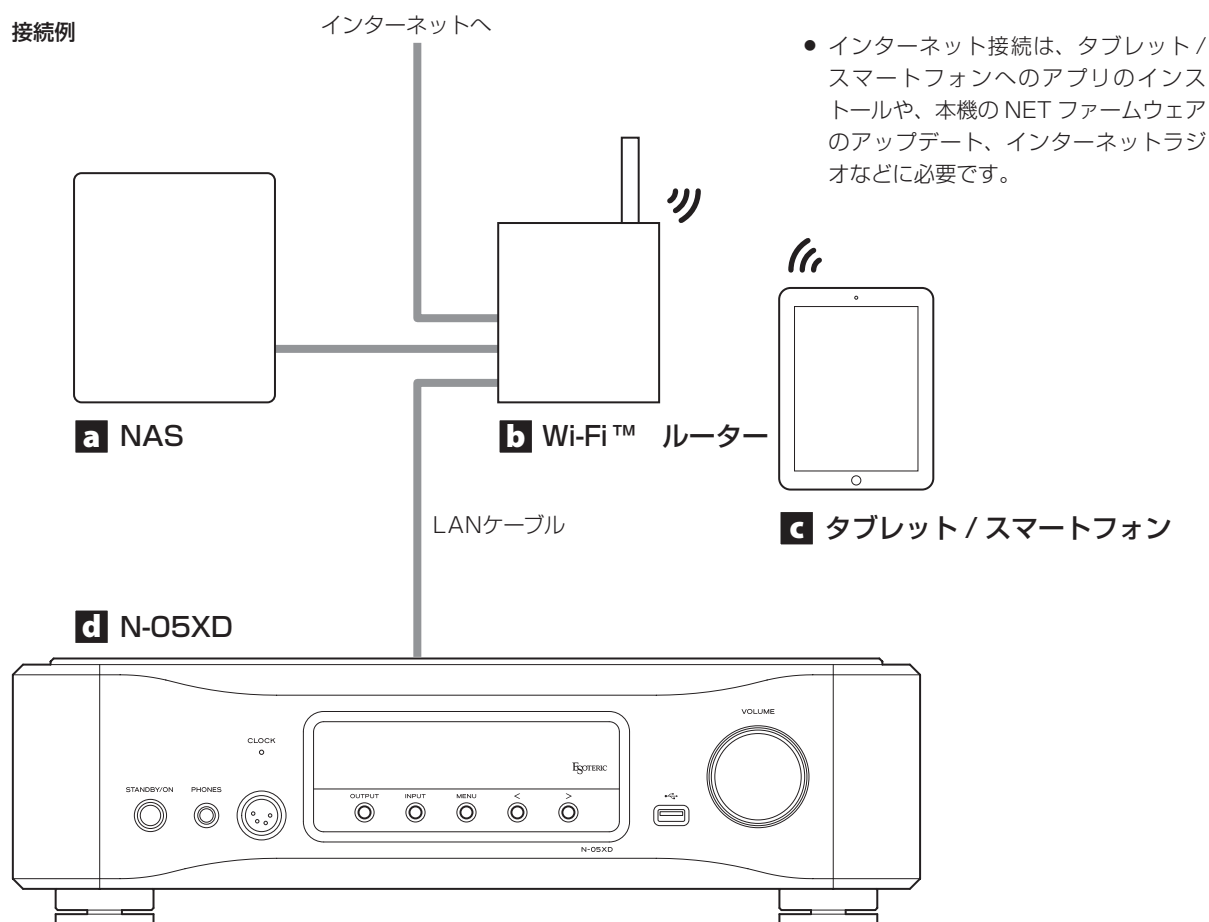
- 本機の AC インレットは 3 ピン仕様になっていますが、アースピンはシャーシには接続されていません。

⚠ エソテリック純正の電源コード以外は使わないでください。火災や感電の原因になることがあります。また、長期間使用しないときは、コンセントから電源プラグを抜いておいてください。

L メンテナンス用端子 (SOFTWARE)

メンテナンスで使用します。弊社サービス部門の指示が無い限り、何も接続しないでください。

接続例

**a** NAS(ネットワークアタッチトストレージ)

音楽ファイルを保存します。
メディアサーバーとして UPnP サーバーが動作している必要があります。

NAS の代わりに USB メモリーなどの USB ストレージに音楽ファイルを入れて、USB ドライブ端子に接続し、N-05XD のメディアサーバー機能を使用してファイル再生を楽しむこともできます。(22 ページ)

b Wi-Fi™ ルーター

タブレット / スマートフォンを Wi-Fi 経由で本機と NAS に接続します。

c タブレット / スマートフォン

アプリをインストールして、本機をコントロールします。

d N-05XD

本機

注意

出荷時の ETHERNET 端子の LED 設定 (LanLED>) は「OFF」に設定されています。(31 ページ)

ヘッドホンの接続

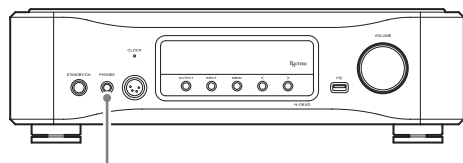
⚠ 注意

ヘッドホンに耳に着けたまま、電源のスタンバイ / オンや、ヘッドホンプラグの抜き差しを行わないでください。突然大きな音が出て、聴力障害の原因となることがあります。

必ず音量を最小（音量表示が「STEP (0-100)」のとき 0、「dB」のとき $-\infty$ dB）の位置まで下げてからヘッドホンを装着してください。（21 ページ）

アンバランス駆動タイプ (UNBAL、一般的なヘッドホン)

6.3mm ステレオ標準プラグのヘッドホンを接続します。

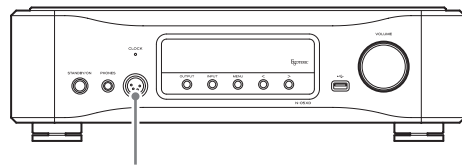


PHONES



バランス駆動タイプ (BAL)

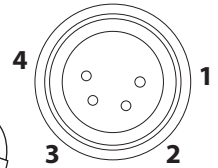
4 ピン XLR プラグのヘッドホンを接続します。



PHONES



本機のピン配列



1: L+, 2: L-,
3: R+, 4: R-

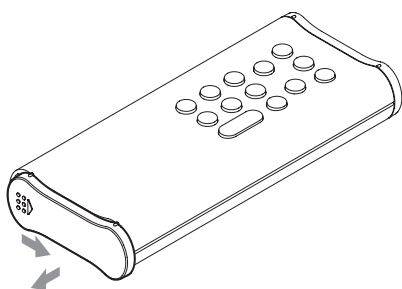
リモコンについて

リモコン使用上の注意

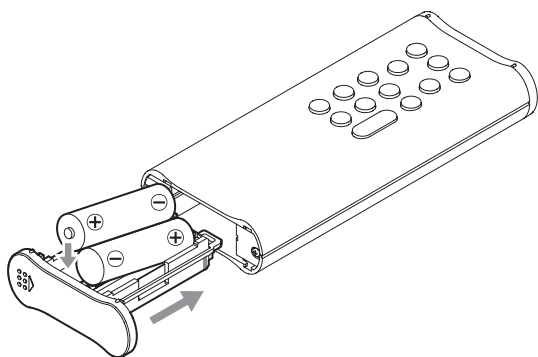
- リモコンの先端を本体のリモコン受光部に向けて、7メートル以内の距離で操作してください。本体とリモコンの間には障害物を置かないでください。
- リモコンの受光部に直射日光や照明の強い光が当たっていると、リモコン操作ができないことがあります。
- 本機のリモコンを操作すると、赤外線によりコントロールする他の機器を誤動作させることがありますのでご注意ください。

電池の入れ方

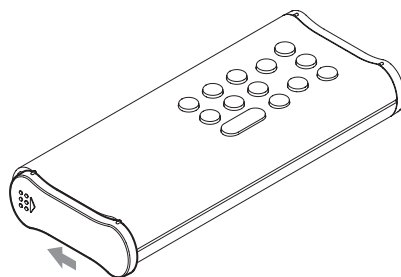
- 1** リモコンの底面を図のようにスライドさせて、電池ケースを引き出す。



- 2** ケースの ⊕ と ⊖ の表示に合わせて乾電池 (単3形) 2本を入れて電池ケースを戻す。



- 3** リモコンの底面を図のようにスライドさせて、電池ケースを取り付ける。



電池の交換時期

操作範囲が狭くなったり、操作ボタンを押しても動作しない場合は、2本とも新しい電池に交換してください。使い終わった電池は電池に記載された廃棄方法、もしくは各市町村指定の廃棄方法に従って捨ててください。

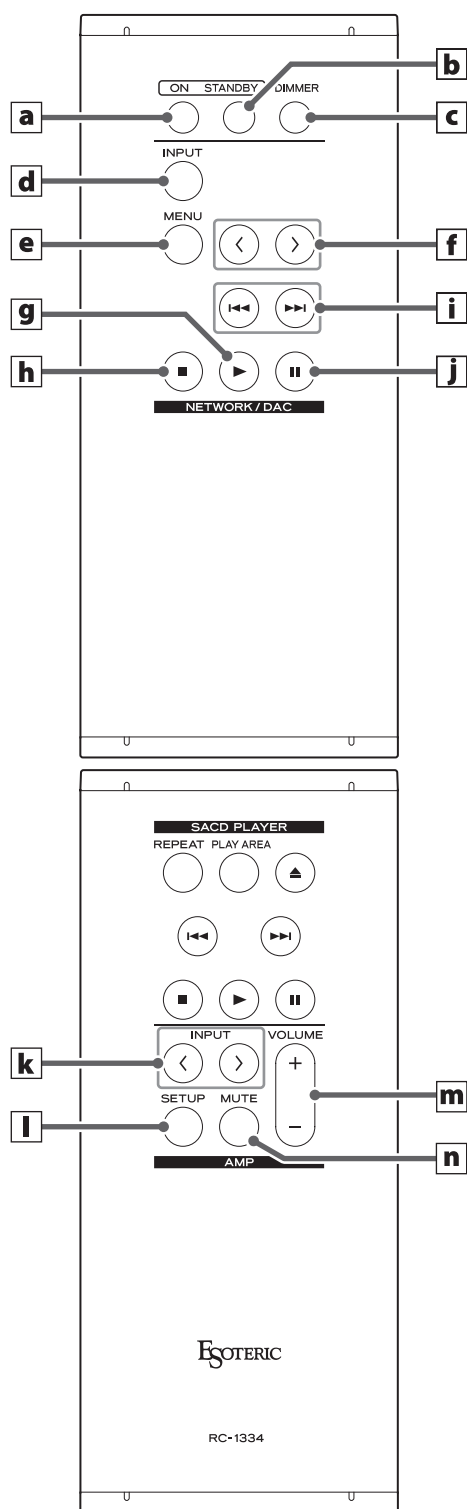


電池についての注意

乾電池を誤って使用すると、電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

9ページの注意をよく読んでご使用ください。

各部の名称 (リモコン)



本体とリモコンに同じ機能のボタンがある場合、この取扱説明書ではいずれかのボタンを使って説明していますが、記載されていない方のボタンも同様に使えます。

a オンボタン (ON)

電源をオンにします。

b スタンバイボタン (STANDBY)

電源をスタンバイにします。

c ディマーボタン (DIMMER)

ディスプレイの明るさを調節します。(19 ページ)

d 入力切替ボタン (INPUT)

入力ソースを切り換えます。入力ソースがデジタル入力の場合で、デジタル信号が入力されていないときは、入力ソース名が点滅します。

- 設定表示中に押すと、設定を終了して通常表示に戻ります。(27 ページ)

e メニューボタン (MENU)

設定モードになります。(27 ページ)

f 選択項目変更ボタン (< / >)

設定モード時のパラメーター変更に使用します。
Bluetooth 機器とのペアリング操作の際にも使用します。(26 ページ)

入力ソースが NET または Bluetooth のときに以下のボタンが使用できます。

g 再生ボタン (▶)

再生します。

h 停止ボタン (■)

再生を停止します。

i スキップボタン (◀◀ / ▶▶)

前または後ろの曲にスキップします。

j 一時停止ボタン (⏸)

再生を一時停止します。

注意

Bluetooth 入力時の再生 / 停止 / スキップ / 一時停止ボタンは、Bluetooth ソース機器のアプリによっては、対応していない場合もあります。

ディマー

リモコンの AMP ボタン設定 (AMPRM>) が「ON」のとき、
k～n のボタンが有効になります。(34 ページ)

- エソテリックのインテグレートッドアンプまたはプリアンプをお使いの場合は、リモコンの AMP ボタン設定 (AMPRM>) を OFF にしてください。(34 ページ)

k 入力切替ボタン (INPUT < / >)

入力を切り換えます。再生する機器が接続されている端子を選んでください。

L/R バランス調整 (BAL>) と入力ゲイン調整 (LVL>) の設定を変更するときに使用します。(28 ページ)

l セットアップボタン (SETUP)

L/R バランス調整 (BAL>) と入力ゲイン調整 (LVL>) の設定を変更するときに使用します。(28 ページ)

m 音量ボタン (VOLUME + / -)

音量を調節します。+を押すと大きくなり、-を押すと小さくなります。

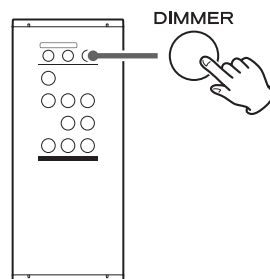
- ディスプレーに「THRU」と表示されているとき、本機で音量を調節することはできません。(33 ページ)

n ミュートボタン (MUTE)

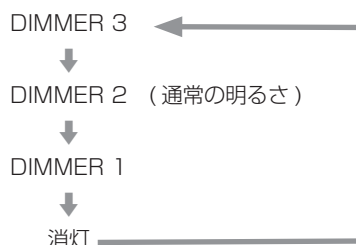
一時的に音を消すことができます。もう一度押すと元の音量に戻ります。

- ミュート時は、画面に「MUTE」が点滅表示します。

- 記号の指示のないボタンは本機では使用しません。
- このリモコンで他のエソテリック製品も操作することができます。

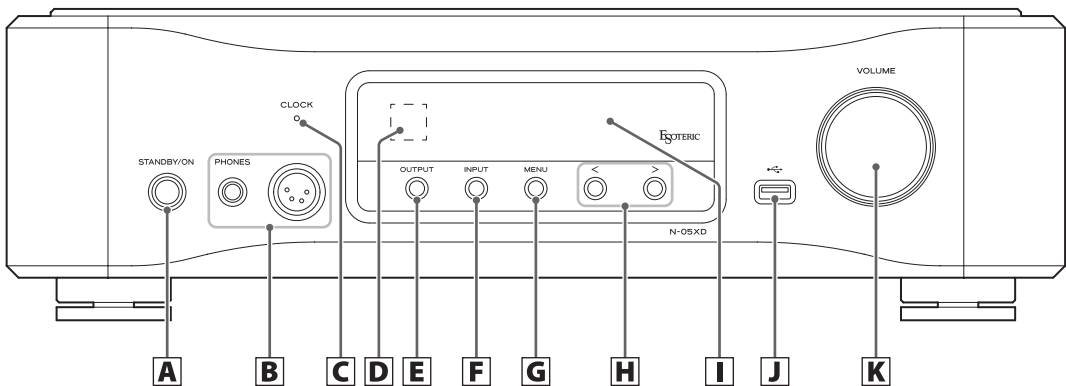


本体のディスプレイの明るさを調節できます。



- 消灯中に再生ボタン (▶) などを押すと、約 3 秒間だけディスプレイが通常明るさで点灯します。
- DIMMER 1 または消灯が選択されていても、設定メニューやエラー内容は通常明るさ (DIMMER 2) で表示されます。
- 長押しすると、DIMMER 2 (通常明るさ) に設定されます。

各部の名称 (本体)



A 電源ボタン (STANDBY/ON)

電源のスタンバイとオンを切り換えます。
電源がオンのときは、ボタンの周囲が点灯します。
電源がスタンバイのときは、消灯します。

本機を使わないときは、電源をスタンバイにしてください。

B ヘッドホン端子 (PHONES)

ヘッドホンプラグ (6.3mm ステレオ標準プラグまたは 4 ピン XLR プラグ) を接続します。(16 ページ)

C クロックインジケータ (CLOCK)

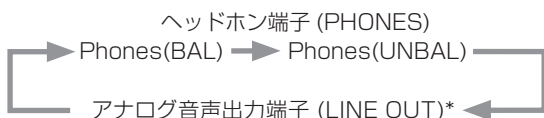
クロック同期の状態を表示します。
クロック同期中にインジケータが点滅し、同期すると点灯に変わります。
入力ソースが USB と NET で、内部クロックで動作しているときは、緑色に点灯します。

D リモコン受光部

リモコンからの信号を受信します。リモコンを使用するときは、リモコンの先端をこちらに向けて操作してください。

E 出力切換ボタン (OUTPUT)

押すごとにアナログ音声出力する端子が切り換わります。



* アナログ音声出力設定 (LOUT>) で設定した端子

F 入力切換ボタン (INPUT)

入力ソースを切り換えます。入力ソースがデジタル入力の場合で、デジタル信号が入力されていないときは、入力ソース名が点滅します。

G メニューボタン (MENU)

設定モードになります。

H 選択項目変更ボタン (< / >)

設定モード時のパラメーター変更に使用します。
入力ソースが NET と Bluetooth のときは、再生や選曲をすることができます。

- Bluetooth 機器とのペアリング操作の際にも使用します。(26 ページ)
- 入力ソースが NET または Bluetooth のときに「>」ボタンを押すと再生、もう一度押すと次の曲にスキップします。再生中に「<」ボタンを押すと前の曲にスキップし、長押しすると停止します。

I ディスプレー

音量や入力ソースのサンプリング周波数などの各種情報を表示します。

J USB ドライブ端子 (🔌)

音楽ファイルが保存されている USB メモリーなどを接続してください。

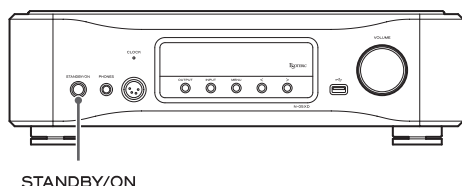
- この端子は、接続した USB メモリーなどに保存された音楽ファイルを再生するために使用します。
- USB ドライブ端子に接続した USB メモリーなどの音楽ファイルを再生するときは、入力ソースを NET にして、アプリを使って再生してください。(22 ページ)

K 音量つまみ (VOLUME)

音量を調節します。
音量は右に回すと大きくなり、左に回すと小さくなります。

基本操作

1 電源ボタン (STANDBY/ON) を押して本機の電源をオンにする。

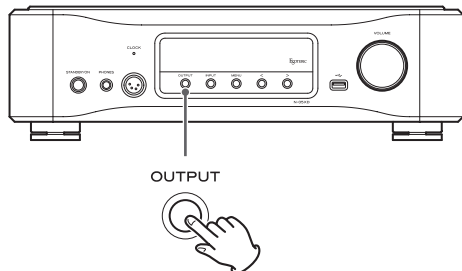


- アンプを接続した場合は、アンプの電源を必ず一番最後にオンにしてください。

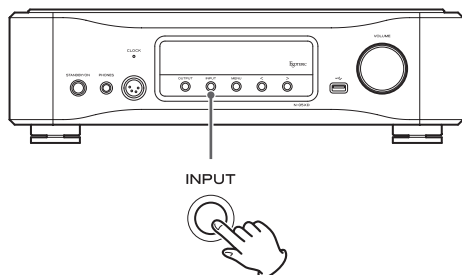
2 音量を最小にする。

音量を調節する機器 (本機または本機に接続したアンプなど) の音量を最小にしてください。

3 出力切換ボタン (OUTPUT) を押して、アナログ音声を出力する端子を選択する。



4 入力切換ボタン (INPUT) を押して、入力ソースを選ぶ。



選択したソースがディスプレイに表示されます。

- 入力信号がデジタル音声信号ではないときや、Dolby Digital、DTS など本機が対応していない音声信号フォーマットのときは音声出力されません。接続している機器のデジタル出力は PCM 音声出力に設定してください。

- USB を選択してパソコンの音楽ファイルを再生するときは、接続する前に専用ドライバーをパソコンにインストールしてください。(23 ページ)
- DSD データは、入力ソースが USB、NET (USB メモリーなどを含む) のとき、または DoP フォーマットのデジタル信号のとき再生できます。
- NET、USB ドライブ端子 (フロント、リア) を使用する場合は、ESOTERIC Sound Stream (無償) をインストールしたスマートホンやタブレットを用意して、同一ネットワークに接続してください。
- Bluetooth 機器を使用する場合は、25 ページの「Bluetooth® 機能を使用する」を参照して、ペアリングをしてください。

5 再生する機器を操作する。

入力ソースが NET のときは、ESOTERIC Sound Stream をインストールしたスマートホンやタブレットを操作します。

入力ソースが USB のときは、本機に接続したパソコンにインストールした音楽再生ソフト (ESOTERIC HR Audio Player など) を操作します。(24 ページ)

その他の入力ソースのときは、接続した各機器の取扱説明書をご覧ください。

- 入力ソースが NET 以外のとき、ESOTERIC Sound Stream で再生操作を行うと、入力ソースを自動的に NET に切り換えて再生を開始します。

6 音量を調節する。

ライン出力を使用している場合

アナログ音声出力レベル設定 (L_VOL>) (33 ページ) を「ON」に設定した場合は、本機の音量つまみ (VOLUME) を回して音量を調節してください。

「FIX」または「FIXL」に設定した場合は、本機では音量調節ができないので、本機に接続したステレオアンプなどで、音量を調節してください。

本機にヘッドホンを接続して使用する場合

本機の音量つまみ (VOLUME) を回して音量を調節してください。

- 本機の音量つまみ (VOLUME) が有効のときは、音量が表示されます。

メモ

- オート・パワー・セーブ設定 (APS>) は、出荷時「OFF」に設定されています。(30 ページ)
- ディスプレー自動消灯設定 (DPaOFF>) が「ON」のとき、10 分間操作しないと表示が消えます。(29 ページ)

ネットワークプレーヤー機能を使用する

本機のネットワークプレーヤー機能は、OpenHome、Roon Ready、Spotify Connect、Tidal Connectなどに対応しています。それぞれのサービスに対応したアプリを使うことで、楽曲の再生を行うことができます。

- iOS、Android に対応した OpenHome コントロールアプリ「ESOTERIC Sound Stream」をご利用いただけます。App Store または Google Play ストアにて「ESOTERIC Sound Stream」で検索してください。



- ESOTERIC Sound Stream 取扱説明書 (https://www.esoteric.jp/jp/product/sound_stream/download) をご覧になり、プレイリストを作成して再生してください。
- ETHERNET 端子、USB ドライブ 端子 (㊦、USB DRIVE)、を使用する場合は、専用アプリ (無償) をインストールしたタブレット / スマートフォンを同一ネットワークに接続する必要があります。
- ネットワークモジュールのファームウェアは ESOTERIC Sound Stream を介して更新されます。定期的に ESOTERIC Sound Stream で本機を選択し、最新のファームウェアに更新することを推奨します。ファームウェアに更新があった場合、自動的に更新を促すポップアップが表示されます。

OpenHome <http://openhome.org/>

本機の中にプレイリストデータを持ち、NAS や本機に接続された USB メモリーに格納された楽曲を OpenHome 対応のコントロールアプリ (ESOTERIC Sound Stream など) を使用し、プレイリストに登録することで、楽曲を再生することができます。ESOTERIC Sound Stream を使用すると、Tidal や Qobuz などのストリーミングサービスからお好みの楽曲をプレイリストに登録することができます。OpenHome では、プレイリストが再生デバイス側に格納されているため、プレイリストへの楽曲の登録後は、コントロールアプリを終了させてもプレイリストの曲順通りの再生が可能です。

Roon Ready <https://roonlabs.com/>

本機は Roon Labs からリリースされている音楽再生・管理ソフト Roon での楽曲再生に対応しています。Roon システムは 3 つの要素「Control (操作部)」、「Core (中核部)」、「Output (出力部)」から構成されています。本機は、Roon 独自の高音質オーディオ伝送フォーマット RAAT (Roon Advanced Audio Transport) に対応したオーディオ出力部の役割を担います。

また本機では、Roon での音楽再生を最高のパフォーマンスで行うため RAAT モードを選択できます。通常モードで対応している Roon 以外のサービス (OpenHome、Spotify Connect、Tidal Connect など) を停止させ、Roon での楽曲再生に特化したモードです。

- RAAT モードの設定方法は、32 ページを参照ください。
- RAAT モード時は、Roon アプリからのみコントロールが可能となります。

Spotify Connect <https://www.spotify.com/>

Tidal Connect <https://tidal.com/>

ストリーミング音楽サービス Spotify や Tidal の専用アプリから本機を出力先として選択することができます。楽曲選択などの操作は、それぞれのサービスに最適化された専用アプリから行うことができ、スマートフォンなどを使って手軽に本機を使った楽曲再生が可能です。

※ 詳しい操作方法は、それぞれのサービスのアプリを参照してください。

USB DAC 機能を使用する

対応 OS

USB 接続できるパソコンの OS は下記のいずれかです。
下記以外の OS での動作保証はいたしません。
(2021 年 3 月現在)

Mac の場合

OS X Yosemite (10.10)
OS X El Capitan (10.11)
macOS Sierra (10.12)
macOS High Sierra (10.13)
macOS Mojave (10.14)
macOS Catalina (10.15)
macOS Big Sur (11)

Windows の場合

Windows 7 (32bit 版、64bit 版)
Windows 8 (32bit 版、64bit 版)
Windows 8.1 (32bit 版、64bit 版)
Windows 10 (32bit 版、64bit 版)

ドライバーのインストール

Mac の場合

OS 標準のドライバーで動作するので、専用ドライバーのインストールは必要ありません。
ただし、Bulk Pet を使用する場合は、専用ドライバーをインストールする必要があります。

Windows の場合

本機でパソコンに記録されている音楽ファイルの再生を行うには、専用ドライバーをパソコンにインストールする必要があります。

ご注意

パソコンと USB 接続する前に専用ドライバーソフトをインストールしてください。
ドライバーインストール前にパソコンと本機を接続した場合、正しく動作させることができません。
パソコンのハードウェア、ソフトウェアの構成によっては、上記の OS を使用していても動作しない場合があります。

専用ドライバーをパソコンにインストールする

下記 URL より専用ドライバーをダウンロードして、パソコンにインストールしてください。
インストール手順と OS の設定方法は、ドライバーに添付されている ESOTERIC ASIO USB DRIVER インストールマニュアルを参照してください。

<https://www.esoteric.jp/jp/product/n-05xd/download>

転送モードについて

本機は、Isochronous または Bulk Pet で接続します。
伝送可能サンプリング周波数は 44.1/48/88.2/96/176.4/192/352.8/384kHz です。DSD の場合は、2.8/5.6/11.2/22.5MHz です。

- DSD 22.5MHz は、DSD Native 再生にのみ対応しており、DoP (DSD Audio over PCM Frames) 再生には対応していません。

正しく接続されると、OS のオーディオの出力先として、「ESOTERIC USB AUDIO DEVICE」が選択可能になります。

本機のデータ転送では、パソコンから送出されたオーディオのデータを本機側のクロックを使って処理するので、データ伝送時のジッターを抑制することができます。

再生アプリケーションソフト「ESOTERIC HR Audio Player」のダウンロード

パソコンを使った音楽ファイルの再生には、ESOTERIC HR Audio Player をご利用いただけます。

下記 URL からダウンロードしてご利用ください (無償)。

https://www.esoteric.jp/jp/product/hr_audio_player

ESOTERIC HR Audio Player は、Windows および Mac 上で動作するハイレゾ音源対応の高音質プレーヤーソフトウェアです。複雑な設定をしなくても DSD を含むハイレゾ音源再生を高音質で楽しむことが可能です。

ESOTERIC HR Audio Player の設定について

ESOTERIC HR Audio Player で、DSD 22.5MHz を再生する場合、[Configure] ウィンドウの [Decode mode] の項目で、[DSD Native] を選択してください。

DSD 22.5MHz を再生しない場合は、[DSD over PCM] もしくは [DSD Native] を選択することができますので、好みの再生方式を選択してください。

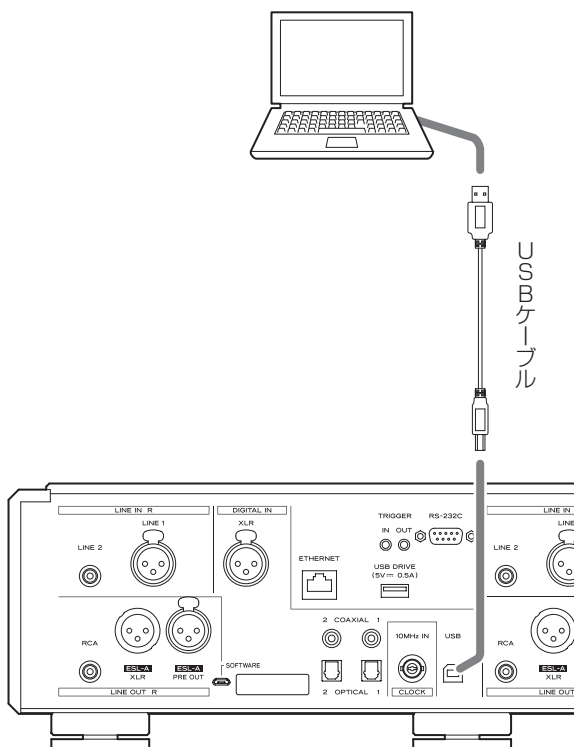
詳しくは、ESOTERIC HR Audio Player 取扱説明書の「DSD 再生方式の選択」をご覧ください。

USB DAC 機能を使用する (続き)

音楽ファイルを再生する

1 USB ケーブルでパソコンと本機を接続する。

USB ケーブルは市販の本機の接続端子に合うものをご使用ください。



2 パソコンの電源を入れる。

OS が正常に起動できたことを確認してください。

3 電源ボタン (STANDBY/ON) を押して本機の電源をオンにする。

STANDBY/ON



4 入力切換ボタン (INPUT) をくり返し押して「USB」を選ぶ。

5 パソコンで音楽ファイルの再生を開始する。

パソコン側の音量調節は最大に設定して、本機に接続したアンプで音量を調節するとより良い音質が得られます。アンプの音量は再生開始時には最小にし、徐々に大きくして調節してください。

本機にヘッドホンやパワーアンプを接続して使用する場合は、本機で音量を調節します。

- パソコンから本機をコントロールしたり、本機からパソコンをコントロールすることはできません。
- 本機から USB 経由でパソコンに音楽ファイルを転送することはできません。
- USB 接続で音楽ファイルを再生しているときに、以下の操作を行わないでください。パソコンの誤動作の原因となります。これらの操作は必ず音楽再生ソフトを終了してから行ってください。
 - ・ USB ケーブルを抜く
 - ・ 本機の電源をスタンバイにする
 - ・ 入力を切り換える
- USB 接続で音楽ファイルを再生しているときは、パソコンの操作時のサウンドも再生されます。操作時のサウンドを再生したくない場合は、パソコン側で設定を行ってください。
- 音楽再生ソフトを起動した後で本機とパソコンを接続したり、本機の入力を「USB」に設定した場合は、音楽ファイルが正しく再生できないことがあります。この場合は、音楽再生ソフトを再起動するか、パソコンを再起動してください。

Bluetooth® 機能を使用する

Bluetooth® 無線通信について

携帯電話等 Bluetooth 機器と本機の距離は約 10m 以内で使用してください。

ただし使用状況によっては通信有効範囲が短くなることがあります。

すべての Bluetooth 機能対応製品との無線通信を保証するものではありません。

本機と Bluetooth 対応機器との互換性については、各 Bluetooth 対応機器に付属の取扱説明書を参照するか、お買い上げの販売店または、弊社 AV お客様相談室（裏表紙に記載）にお問い合わせください。

プロファイル

本機は、以下の Bluetooth プロファイルに対応しています。

- A2DP (Advanced Audio Distribution Profile)
- AVRCP (Audio/Video Remote Control Profile)

Bluetooth 無線通信で音声伝送を行うには、Bluetooth 機器が A2DP に対応している必要があります。

Bluetooth 機器の再生を制御するには、Bluetooth 機器が AVRCP に対応している必要があります。

ただし、同じプロファイルに対応していても、Bluetooth 機器の仕様により、機能が異なる場合があります。

コーデック

本機は、以下のコーデックに対応しており、音声伝送時にいずれかのコーデックを自動選択します。

- LDAC
- LHDC
- Qualcomm® aptX™ HD audio
- Qualcomm® aptX™ audio
- AAC
- SBC

使用するコーデックは、Bluetooth 機器のコーデック対応や通信状況に応じて適切に選択します。

LDAC は、ソニーが開発したハイレゾ音源を Bluetooth 経由でも伝送可能とする音声圧縮技術です。SBC 等の既存 Bluetooth 向け圧縮技術とは異なり、ハイレゾ音源を低い周波数・低いビット数へダウンコンバートすることなく処理します^{*1}。また極めて効率的な符号化やパケット配分の最適化を施すことで、従来技術比約 3 倍^{*2}のデータ量の送信を可能とし、これまでにない高音質の Bluetooth 無線伝送を実現しています。

*1：DSD フォーマットは除く。

*2：990kbps(96/48kHz)または909kbps(88.2/44.1kHz)のビットレートを選択した場合の SBC (Subband Coding) との比較。

メモ

- 使用するコーデックは、ボタン操作などで選択することはできません。
- Bluetooth 無線技術の特性により、Bluetooth 機器の再生に比べて本機側での再生がわずかに遅れます。

コンテンツ保護

本機は、音声伝送時のコンテンツ保護として SCMS-T に対応しており、保護された音声を再生できます。

通信セキュリティ

本機は、Bluetooth 無線通信で Bluetooth の標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応していますが、通信の秘匿性を保障するものではありません。

Bluetooth 無線通信で情報の漏洩が発生しなくても、弊社は一切の責任を負いかねます。

Bluetooth® 機能を使用する（続き）

Bluetooth 機器とペアリングする

本機を初めて使用する場合、または別の Bluetooth 機器を初めて本機に接続する場合は、本機と Bluetooth 機器をペアリングする必要があります。

1 入力切 換 ボ タ ン (INPUT) を 押 し て Bluetooth を 選 択 す る。

2 Bluetooth 機器を Bluetooth 通信状態に設定する。

3 選択項目変更ボタン (>) を長押ししてペアリングモードにする。

ペアリング中はディスプレイに「Pairing」と表示されます。

4 Bluetooth 機器から、本機「N-05XD」を選択し接続する。

本機をペアリング状態にしてから Bluetooth 機器側のペアリングを行ってください。

詳しくは、お使いの Bluetooth 機器の取扱説明書をご覧ください。

接続すると、接続した機器名を表示します。

メモ

選択項目変更ボタン (<) ボタンを押すとペアリングを中止します。

Bluetooth 機器を再生する

- 本機を初めて使用する場合、または別の Bluetooth 機器を初めて本機に接続する場合は、本機と Bluetooth 機器をペアリングしてください。
- Bluetooth 機器とのペアリングや接続は、数 m の範囲内で行ってください。距離が離れすぎた場合、ペアリングやその後の接続ができなくなる場合があります。

1 入力切 換 ボ タ ン (INPUT) を 押 し て Bluetooth を 選 択 す る。

2 Bluetooth 機器を Bluetooth 通信状態に設定する。

接続したい Bluetooth 機器を操作して、本機と接続してください。

注意

接続がうまくいかない場合は、Bluetooth 機器の取扱説明書をご覧ください。

メモ

Bluetooth モジュール常時動作設定 (BTstby>) が「ON」の場合、入力を Bluetooth に切り換えなくても、接続ができます。接続した Bluetooth 機器で再生すると、入力を自動的に Bluetooth に切り換えます。

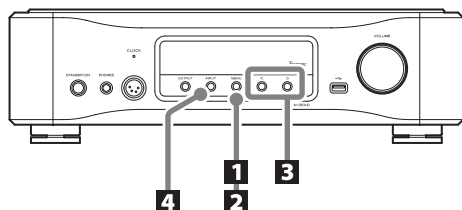
3 Bluetooth 機器を再生する。

- Bluetooth 機器の音量が上がっていることを確認してください。再生側の音量を上げないと本機から音が聞こえない場合があります。

設定モード

本機の設定は、設定1、設定2、設定3の3つのグループに分かれています。

メニューボタン(MENU)の押し方によって設定1、設定2、設定3と通常表示を切り換えます。



設定のしかた

1 メニューボタン (MENU) を押す。

MENU



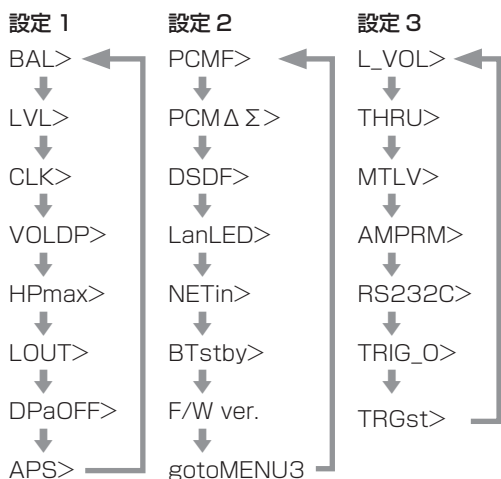
設定1が表示されます。

設定2を表示するには、メニューボタン(MENU)を長押ししてください。

設定3を表示するには、設定2の gotoMENU3 表示中に選択項目変更ボタン(>)を長押ししてください。

2 メニューボタン (MENU) をくり返し押して、変更する項目を選ぶ。

メニューボタン(MENU)を押すたびに、ディスプレイの表示が変わります。



- 10 秒以上放置すると、設定モードが解除されて通常の表示に戻ります。
- 選択しているソースや操作している状態により表示されない項目があります。

3 選択項目変更ボタン (< / >) を使って、設定を変更する。



複数の項目を変更する場合は、手順 2 と 3 をくり返してください。

- F/W ver. 表示中に選択項目変更ボタン(>)を押すと、各ファームウェアのバージョンの確認ができます。FPGA のバージョン表示中に選択項目変更ボタン(>)を押すと、F/W ver. 表示に戻ります。

4 入力切換ボタン (INPUT) を押して、設定を終了する。

INPUT



または、10 秒以上放置すると、設定を終了して通常の表示に戻ります。

- 設定した内容は電源プラグを抜いても保持されます。

リモコンの AMP ボタン設定 (AMP RM>) が ON のとき

L/R バランス調整 (BAL>) と入力ゲイン調整 (LVL>) は設定 1 に表示されません。以下の手順で設定を変更してください。

1 リモコンのセットアップボタン (SETUP) を押して、変更する設定項目を表示させる。

セットアップボタン (SETUP) を押す毎に、BAL> と LVL> の表示が切り換わります。

2 リモコンの AMP の入力切換ボタン (INPUT < / >) を押して、設定を変更する。

3 リモコンのセットアップボタン (SETUP) を通常の表示に戻るまで押して設定を終了する。

- 本体の入力切換ボタン (INPUT) を押しても設定を終了します。

設定 1

L/R バランス調整

BAL> * * *

左右の音量バランスを調整します。

L6.0 (dB) ～ R6.0 (dB) の範囲で 0.5dB 刻みで設定できます。また、片側のチャンネルをミュートする設定も可能です。

- 出荷時は「0.0」(バランス調整なし) に設定されています。
- 各入力ごとに設定可能です。
- リモコンの AMP ボタン設定 (AMPRM>) が「ON」のときは、MENU1 に本設定 (BAL>) は表示されません。リモコンを使って設定します。(27 ページ)

片側チャンネルをミュートする

「>」ボタンを押して表示を「BAL>R-only」にすると、R チャンネルのみに出力します。

同様に、「<」ボタンを押して「BAL>L-only」にすると、L チャンネルのみに出力します。

入力ゲイン調整

LVL> * * *

選択されている入力端子の入力ゲインを調整します。

－ 18.0 (dB) ～ +18.0 (dB) の範囲で 0.5dB 刻みで設定できます。

- 出荷時は「0.0」に設定されています。
- 各入力ごとに設定可能です。
- リモコンの AMP ボタン設定 (AMPRM>) が「ON」のときは、MENU1 に本設定 (LVL>) は表示されません。リモコンを使って設定します。(27 ページ)

設定と音質について

BAL (左右バランス)、LVL (入力ゲイン調整) は、いずれも音量に関わる設定項目です。これらの設定と音量 (VOLUME) の設定値は、総合的にマイコンで判断され、一カ所のボリュームコントロールアンプで一括制御されています。

そのため、音声信号がいくつかの回路を通過してしまう一般的なアンプと異なり、設定による音質劣化はありませんのでご安心ください。

クロック設定

CLK> * * *

外部クロックによる同期設定を行います。

- 出荷時は「OFF」に設定されています。
- 各入力ごとに設定可能です。
- NET、USB 入力以外で、クロック同期機能のないソース機器と接続するときは、「OFF」を設定してください。
- 入力ソースが Bluetooth、LINE1、LINE2 のときは、表示されません。

OFF

クロック同期を行いません。入力デジタル信号のクロックで動作します。

NET、USB 入力時は内蔵発振器を使用し、クロックインジケータ (CLOCK) が緑色に点灯します。

IN

本機のクロック入力端子 (10MHz IN) にクロックジェネレーターから 10MHz のクロックを入力し、本機を同期させるモードです。

クロックインジケータ (CLOCK) が点灯します。同期中または同期できない状態の場合は、クロックインジケータ (CLOCK) が点滅します。

- 入力可能なクロックの周波数は、10MHz です。入力音声信号と入力クロック信号は同期している必要があります。
- 音楽再生中にクロックジェネレーターの電源をオフにしたり、10MHz クロックを供給している BNC 同軸ケーブルの接続をはずして、クロックの供給を止めると、スピーカーから大きなノイズが発生することがありますのでご注意ください。

音量表示設定

VOLDP> * * *

ディスプレイに表示する音量の単位を設定します。

STEP

単位をステップで表示します。

0 ~ 100 までは 0.5 刻みで調節します。

dB1

単位を dB で表示します。

$-\infty$ 、 $-95.0 \sim +24.0$ dB までは 0.5 dB 刻みで調節します。

dB2

単位を dB で表示します。

$-\infty$ 、 $-95.0 \sim 0.0$ dB までは 0.5 dB 刻みで調節します。

ヘッドホン最大音量設定

HPmax> * * *

ヘッドホン出力の最大音量を設定します。

音量表示設定 (VOLDP) で設定されている表示単位でそれぞれ下記の範囲で最大値が設定できます。

STEP 表示時: 36.0 ~ 100

dB1 表示時: $-40.0 \sim +24.0$

dB2 表示時: $-64.0 \sim 0.0$

- 出荷時は、最大値に設定されています。
STEP: 100
dB1: +24.0
dB2: 0.0
- 設定値は、通常のメニュー操作のく、> ボタンに加えて、音量つまみ (VOLUME)、リモコンの音量ボタン (VOLUME + / -) でも変更できます。
- 本体の音量つまみ (VOLUME)、リモコン、ネットワークアプリなどを操作して、本体の音量表示は、HPmax で設定した値以上に設定することができますが、ヘッドホン出力の音量は、HPmax で設定した音量以上には上がりません。
- 音量が HPmax で設定した値以上になっている場合は、ディスプレイの出力表示 (Phones/Phones BAL) が点滅します。

アナログ音声出力設定

LOUT> * * *

使用するアナログ音声出力 (LINE OUT) を設定します。

- 出荷時は「XLR2」に設定されています。

ESLA

XLR 端子から ES-LINK Analog (ESL-A) でアナログ音声信号を出力します。

- 接続には一般的な XLR ケーブルを使用しますが、独自伝送方式のため、接続は対応する機器のみとなります。
- ES-LINK Analog (ESL-A) については 11 ページを参照下さい。

XLR2

XLR 端子から 2 番 HOT でアナログ音声信号を出力します。

XLR3

XLR 端子から 3 番 HOT でアナログ音声信号を出力します。

RCA

RCA 端子からアナログ音声信号を出力します。

ディスプレイ自動消灯設定

DPaOFF> * * *

ディスプレイ表示を自動的に消灯することができます。

- 出荷時は、「ON」に設定されています。
- 有機 EL 表示管は、同じ表示状態で長時間使用し続けると、輝度ムラが起こることがありますので、自動消灯設定を ON にすることをお勧めします。

ON

10 分間操作の無い状態が続くと、表示が自動的に消灯します。

OFF

表示を自動消灯しません。

- 10 分間操作の無い状態が続くと、DIMMER 1 と同じ明るさにし、ディスプレイの消耗を防ぎます。

設定 1 (続き)

オート・パワー・セーブ設定

APS> * * *

選択されている入力ソースからの入力信号がない状態が設定時間続くと、電源を自動的にスタンバイにします。

- 出荷時は、「OFF」に設定されています。
- 選択されていない入力ソースの状態は、オート・パワー・セーブの動作に影響しません。

OFF

オート・パワー・セーブ機能を使用しません。

30m

30 分

60m

60 分

90m

90 分

120m

120 分

設定 2

PCM 再生時のデジタルフィルター設定

PCMF> * * *

PCM 再生時のデジタルフィルターを設定します。
お好みに合わせて設定してください。

- 出荷時は「OFF」に設定されています。

OFF

PCM 再生時のデジタルフィルターを使用しません。

FIR

ブリエコーのないスローロールオフ特性の FIR 型デジタルフィルターを使用します。

RDOT

フルエンシー関数による独自の類推補間技術を使用したスローロールオフ特性のデジタルフィルターを使用します。

PCM 再生時の $\Delta \Sigma$ 周波数設定

PCM $\Delta \Sigma$ > * * *

PCM 再生時の $\Delta \Sigma$ モジュレータの動作周波数を 512、256、128 の中から選択します。
お好みの音色の設定を選択してください。

- 出荷時は「512」に設定されています。

32kHz/44.1kHz/48kHz の何倍の周波数で $\Delta \Sigma$ モジュレータを動作させるかの設定です。

例

96kHz のオーディオソースで 512 が選択されている場合、48kHz×512 で 24.576MHz で $\Delta \Sigma$ モジュレータが動作します。

DSD 再生時のデジタルフィルター設定

DSDF> * * *

DSD 再生時のデジタルフィルターを設定します。
お好みに合わせて設定してください。

- 出荷時は「OFF」に設定されています。

OFF

DSD 再生時のデジタルフィルターを使用しません。

ON

DSD 再生時のデジタルフィルターを使用します。

ETHERNET 端子の LED 設定

LanLED> * * *

ETHERNET 端子の LED の設定をします。OFF を選択すると ETHERNET 端子部分の LED が消灯し、音質への影響を減らすことができます。

- 出荷時は「OFF」に設定されています。
- 「OFF」に設定しても、本機の電源をオンにしてから内部の初期化が終わるまで（「Initialize」表示中）や LAN ケーブルを接続した直後は LED が点滅します。

OFF

ETHERNET 端子の LED を消灯します。

ON

ETHERNET 端子の LED の点灯 / 点滅を有効にします。

ネットワーク入力回路電源設定

NETin> * * *

ネットワーク入力回路の電源をオン、オフします。

- 出荷時は「ON」に設定されています。

ON

ネットワーク入力回路の電源をオンにし、ネットワーク経由で音楽ファイルの再生を行います。

OFF

ネットワーク入力回路の電源をオフにし、ネットワーク入力回路の動作を停止します。
入力ソースの選択肢に「NET」が表示されなくなります。

Bluetooth モジュール常時動作設定

BTstby> * * *

- 出荷時は「OFF」に設定されています。

ON

Bluetooth モジュールの電源を常にオンにします。

- Bluetooth 機器の再生を開始すると、自動的に入力ソースが Bluetooth に切り換わります。

OFF

入力ソースが Bluetooth のときのみ Bluetooth モジュールの電源をオンにします。

ファームウェアのバージョン表示

F/W ver.

F/W ver. 表示中に選択項目変更ボタン (>) を押すと、各ファームウェアのバージョンの確認ができます。

I/F

ユーザーインターフェイスファームウェア

NET

ネットワークファームウェア

BT

Bluetooth ファームウェア

M

MQA デコーダーファームウェア

FPGA

D/A コンバートデジタルプロセス FPGA ファームウェア

設定 3 表示

gotoMENU3

選択項目変更ボタン (>) を長押しすると設定 3 を表示します。

設定 2(続き)

RAAT モード

- I/F ファームウェア v2.00 以降、NET ファームウェア 150 以降でこの機能に対応しています。

RAAT (Roon Advanced Audio Transport) のみで動作する RAAT モードを選択することができます。

RAAT モードでは、Roon での音楽再生を最高のパフォーマンスで行うために、通常モードで対応している Roon 以外のサービス (OpenHome、Spotify Connect、Tidal Connect など) を停止させ、Roon コントロールアプリからのみ操作可能となります。

RAAT モードの設定方法

- 1 設定 2 のファームウェアのバージョン表示 (F/W ver.) を選択して、NET を表示させる。**

- 2 本体の選択項目変更ボタン (>) を長押しする。**
NETM > RAAT が点滅します。

- 3 本体の選択項目変更ボタン (>) を再度長押しする。**

RAAT モードが設定され、ネットワークプレーヤープログラムが再起動されます。再起動完了後は、Roon でのみ音楽再生ができる状態になります。

- RAAT モードで動作しているときは、本体のディスプレイに **RAAT** マークが表示されます。
- RAAT モードで動作させている場合、ESOTERIC Sound Stream などの OpenHome コントロールアプリや Spotify、Tidal アプリから本機は認識されなくなります。

RAAT モードから通常 (NORMAL) モードに戻す方法

- 1 設定 2 のファームウェアのバージョン表示 (F/W ver.) を選択して、NET を表示させる。**

- 2 本体の選択項目変更ボタン (>) を長押しする。**
NETM > NORM が点滅します。

- 3 本体の選択項目変更ボタン (>) を再度長押しする。**

RAAT モードが解除されて通常モードに戻り、ネットワークプレーヤープログラムが再起動されます。再起動完了後は、OpenHome などの各サービスが使用可能になります。

設定 3

アナログ音声出力レベル設定

L_VOL> * * *

アナログ音声出力端子 (LINE OUT) の出力レベルを選択します。

- 出荷時は「ON」に設定されています。

ON

フロントパネルの音量つまみ (VOLUME) に連動して出力されます。本機で音量調節を行いたい場合に選択してください。

- アナログ音声出力端子 (LINE OUT) をパワーアンプに接続する場合は、「ON」を選択してください。

FIX

アンプ側で音量を調節したい場合に選択してください。

- DSD 信号は PCM 信号よりもやや小さい音量で再生されることがあります。音量を合わせたい場合は、「FIXL」を選んでください。

FIXL

アンプ側で音量を調節したい場合に選択してください。PCM 信号のフルスケール 0dB 再生時の出力レベルと DSD 信号の 0dB 再生時の出力レベルが同じレベルになります。

再生された PCM 信号が DSD 信号に対して大きい音量と感じたときに使用してください。

- インテグレートッドアンプなどの音量調節のできるアンプと接続するときは、「FIX」または「FIXL」を選択してください。
- 「FIX」または「FIXL」に設定されている場合、ESL-A PRE OUT は出力されません。

スルーアウト出力設定

THRU> * * *

シグナルスルー端子として使う入力端子を設定することができます。

- 出荷時は「OFF」に設定されています。


OFF

スルー入力を設定しません。

LINE1

LINE2


本機での音量調節を行わず出力されるようになります。

 通常のライン機器が接続されている入力を選択してしまうと、過大な信号がスピーカーに出力され、スピーカーを破損する恐れがあります。

ディスプレイには、音量つまみ (VOLUME) で設定した音量の代わりに「THRU」と表示されます。

例えば、AV アンプのプリアウト端子 (FRONT L/R など) を本機の LINE2 端子と接続し、LINE2 を THRU に設定すると、本機に接続されたパワーアンプに接続されたスピーカーを AV アンプのフロントスピーカーとしても共用することができます。(この場合、入力ソースに LINE2 を選択したときの音量調節は AV アンプで行います。)

- THRU に設定した入力端子の音量調節はできませんが、BAL、LVL 設定で微調整を行うことはできます。

 THRU に設定した入力端子には、必ず音量調節できる機器を接続してください。接続した機器の音量を最小にしてから入力ソースを切り換えて、接続した機器の音量を徐々に上げてください。

設定 3(続き)

ミュートレベル設定

MTLV> * * *

ミュート (MUTE) 時の音量を設定します。

- 出荷時は「 $-\infty$ dB」に設定されています。

$-\infty$ dB

ミュート (MUTE) 時の音量を $-\infty$ dB にします。

— 20dB

ミュート (MUTE) 時の音量を、設定されている音量から 20dB 小さくします。

リモコンの AMP ボタン設定

AMPRM> * * *

リモコンの AMP ボタンの有効 / 無効を設定します。

- 出荷時は「ON」に設定されています。
- ESOTERIC のインテグレートッドアンプやプリアンプと接続して使う場合は、「OFF」に設定してください。

ON

リモコンの入力切換ボタン (INPUT < / >)、セットアップボタン (SETUP)、音量ボタン (VOLUME + / -)、ミュートボタン (MUTE) を有効にします。

- L/R バランス調整 (BAL>)、入力ゲイン調整 (LVL>) の設定は、リモコンを使って行います。(27 ページ)

OFF

リモコンの入力切換ボタン (INPUT < / >)、セットアップボタン (SETUP)、音量ボタン (VOLUME + / -)、ミュートボタン (MUTE) を無効にします。

- L/R バランス調整 (BAL>)、入力ゲイン調整 (LVL>) の設定は、設定 1 で行います。

リモコン入力端子 (RS-232C) 設定

RS232C> * * *

リモコン入力端子 (RS-232C) を使用時のみ「ON」に設定してください。

- 出荷時は「OFF」に設定されています。

OFF

リモコン入力端子 (RS-232C) を使用しません。

ON

リモコン入力端子 (RS-232C) を使用します。

トリガー信号出力設定

TRIG_O> * * *

- 出荷時は「OFF」に設定されています。

OFF

トリガー信号を出力しません。

ON

トリガー信号を出力します。

トリガースタートソース設定

TRGst> * * *

トリガー入力で電源オンとなる場合に、入力ソースを選択することができます。

- 出荷時は「LAST」に設定されています。

LAST

電源スタンバイ時に選択されていた入力ソースで電源オンします。

THRU

THRU 設定された入力ソースで電源オンします。

メモ

トリガー出力のある AV アンプと本機をトリガー接続し、AV アンプのフロント L/R 出力を N-05XD のアナログ入力に接続します。次に接続した端子名をスルーアウト出力設定 (THRU>) に設定します。

AV アンプの電源をオンにすると、自動的に AV アンプから接続されている入力ソースが選択され、そのまま AV 環境の再生を行うことができます。

困ったときは

本機の調子がおかしいときは、サービスを依頼される前に以下の内容をもう一度チェックしてください。また、本機以外の原因も考えられます。接続した機器の使用方法も併せてご確認ください。

それでも正常に動作しない場合は、お買い上げの販売店またはティアック修理センター (54 ページ) にご連絡ください。

一般

電源が入らない

- ➔ 電源プラグをコンセントに差し込んでください。
- ➔ 電源コードと本機の接続を確認してください。
- ➔ 電源コードが接続されたコンセントに電流が流れているか、別の機器を接続するなどして確認してください。

電源が自動的にスタンバイになる

- ➔ オート・パワー・セーブ機能が働いて電源がスタンバイになっています。
本体の電源ボタン (STANDBY/ON) を押して、電源をオンにしてください。
必要に応じてオート・パワー・セーブ設定を変更してください。(30 ページ)

ボタンを押しても反応しない

- ➔ 続けてボタンを押すと、機械側が対応できないことがあります。ボタンを押すときは、機械が反応するまで少しお待ちください。

雑音がする

- ➔ テレビなど強い磁気を帯びたものからはできるだけ離して設置してください。

スピーカーから音が出ない、音が歪む

- ➔ アンプ、スピーカーとの接続を確認してください。
- ➔ アンプなどの音量を調節してください。
- ➔ 一時停止中は音が出ません。アプリを操作して、通常の再生に戻してください。
- ➔ アナログ音声出力設定 (LOUT>) を確認してください。(29 ページ)

クロック同期

クロックインジケーター (CLOCK) の点滅が消えない

- ➔ クロック同期を使用しない時は、クロック設定 (CLK>) で「OFF」を選んでください。
- ➔ 同期できないクロックが入力されている可能性があります。クロック入力端子 (10MHz IN) の接続や、接続している機器の設定を確認してください。

「ブツ、ブツ……」と周期的なノイズが出る

- ➔ クロック同期モード時にスピーカーから「ブツ、ブツ……」と周期的なノイズが出る場合は、接続しているソース機器がクロック同期モードになっていない可能性があります。クロック入力端子 (10MHz IN) の接続状態や、接続している機器のクロック同期の設定を確認してください。

ネットワーク再生

入力ソースの選択肢に「NET」が表示されない

- ➔ ネットワーク入力回路電源設定 (NETIn>) を ON にしてください。

(正常に) 再生できない音楽ファイルがある

- ➔ メディアサーバー (NAS) によってそれぞれ対応ファイルの種類が異なります。メディアサーバー (NAS) の仕様も併せてご確認ください。

音が途切れ途切りに再生される

- ➔ 44.1kHz などの低いビットレートや MP3 などの不可逆圧縮のファイルでは正常で、384kHz などの高いビットレートや FLAC などの可逆圧縮ファイルで音が途切れる場合、ETHERNET の速度が不足している可能性があります。
オーディオデータは、NAS からルーターを経て本機へと伝送されますので、NAS とルーター、ルーターと本機が、有線 LAN ケーブルで接続されているほうが有利です。

パソコンとの USB 接続

パソコンで本機が認識されない

- ➔ 対応するパソコンの OS は、23 ページをご覧ください。対応していない OS での動作保証はいたしかねます。

雑音がする

- ➔ 音楽ファイル再生中に他のアプリケーションを起動すると、音が途切れたり、ノイズが発生する場合があります。再生中は他のアプリケーションを起動しないでください。
- ➔ 本機とパソコンを USB ハブなどを介して接続していると雑音が出ることがあります。そのような場合は、本機とパソコンを直接接続してください。

音楽ファイルが再生できない

- ➔ パソコンと本機を接続して「USB」に切り換えてから、音楽再生ソフトを起動して再生を開始してください。音楽再生ソフトを起動した状態で本機とパソコンを接続したり、本機の入力を「USB」に切り換えた場合は、音楽データが正しく再生できないことがあります。

困ったときは（続き）

Bluetooth 接続

機器名が表示できない

- ➡ 本機は、記号、2 バイト文字（日本語、中国語など）の表示に対応していません。
本機と接続する Bluetooth 機器のデバイス名は全て英数文字をお使いください。

接続する Bluetooth 機器を変更できない

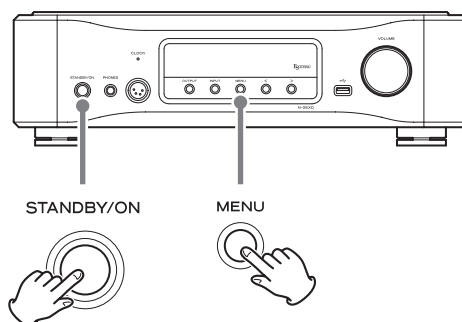
- ➡ 本機は複数の機器と同時に Bluetooth 接続することができません。
本機と Bluetooth 接続する機器を変更するには、本機と接続中の Bluetooth 機器の接続を切ってから別の Bluetooth 機器と接続してください。

音が出ない、音が小さい

- ➡ Bluetooth 機器の音量が上がっていることを確認してください。再生側の音量を上げないと本機から音が出ない場合があります。

本機はマイコンを使用しておりますので、外部からの雑音やノイズ等によって正常な動作をしなくなることがあります。このような場合はいったん電源を切り、約 1 分後に始めから操作してください。

出荷時の状態に戻すには



設定した内容は、電源プラグを抜いても保持されます。以下の操作をすると、設定した内容を工場出荷時の状態に戻し、すべてのメモリーを消去します。

1 電源をスタンバイにする。

電源がオンの場合は、電源ボタン（STANDBY/ON）を押して電源をスタンバイにしてください。

2 メニューボタン（MENU）を押しながら電源ボタン（STANDBY/ON）を押す。

ディスプレイに「Setup CLR（設定消去）」が表示されたらメニューボタン（MENU）から指を離してください。

結露現象について

本機を寒い戸外から暖かい室内に持ち込んだり、設置した部屋の暖房を入れた直後などには、水滴がついて正常に動作しないことがあります。この場合は、電源を入れて 1 ～ 2 時間そのまま放置してください。正常に操作できるようになります。

仕 様

デジタル音声入力

XLR	1 系統
入力レベル	5.0 Vp-p
入力インピーダンス	110Ω
入力信号形式	
DSD (ES-LINK1、ES-LINK2)	2.8 MHz

COAXIAL	2 系統
入力レベル	0.5 Vp-p
入力インピーダンス	75 Ω

OPTICAL	2 系統
入力レベル	-24.0 ~ -14.5 dBm peak

XLR、COAXIAL、OPTICAL 共通	
入力信号形式	
リニア PCM (AES/EBU、IEC60958 フォーマット)	32 ~ 192 kHz、16 bit、24 bit
DSD (DoP フォーマット)	2.8 MHz

USB	1 系統 (B 端子)
	USB2.0 以上推奨
入力信号形式	
リニア PCM	44.1 ~ 384 kHz
	16 bit、24 bit、32 bit
DSD	2.8 MHz、5.6 MHz、11.2 MHz、22.5 MHz

ETHERNET	1
	(1000BASE-T)

USB ドライブ端子	2
対応ファイルシステム	FAT32、exFAT または NTFS
	シングルパーティション
	USB2.0 以上推奨
最大供給電流	0.5 A

ETHERNET、USB ドライブ端子共通	
入力信号形式	
リニア PCM	44.1 ~ 384 kHz (ステレオ)
	16 bit、24 bit、32 bit
● 整数型フォーマットのファイルのみ再生可能	
DSD	2.8 MHz、5.6 MHz、11.2 MHz、22.5 MHz (ステレオ)
対応ファイルフォーマット	
PCM ロスレス	FLAC、Apple Lossless(ALAC)、WAV、AIFF、MQA
DSD ロスレス	DSF、DSDIFF (DFF)、DoP
圧縮オーディオ	MP3、AAC (m4a コンテナ)

アナログ音声入力

XLR	1 系統 (L/R)
入力インピーダンス	50kΩ
最大許容入力電圧	8Vrms
RCA	1 系統 (L/R)
入力インピーダンス	25kΩ
最大許容入力電圧	4Vrms

クロック入力

BNC	1
入力可能周波数 (±10 ppm)	10 MHz
入力インピーダンス	50 Ω
入力レベル	
矩形波	TTL レベル相当
サイン波	0.5 ~ 1.0V rms

アナログ音声出力

XLR/ESL-A	1 系統 (L/R)
RCA	1 系統 (L/R)
ESL-A PRE OUT	1 系統 (L/R)
出力インピーダンス	
XLR	220 Ω
RCA	60 Ω
出力レベル (PCM フルスケール信号入力、アナログ音声出力レベル設定 FIX 時)	
XLR	5.0 Vrms
RCA	2.5 Vrms
周波数特性	5 Hz ~ 75 kHz (- 3 dB)
S/N 比	105 dB
歪率	0.0015% (1 kHz)

- アナログ音声出力レベル設定が「FIX」または「FIXL」に設定されている場合、ESL-A PRE OUT は出力されません。

ヘッドホン出力

6.3mm ステレオ標準ジャック	1
4 ピン XLR ジャック	1
実用最大出力	
アンバランス出力	750mW+750mW(32Ω 負荷)
バランス出力	1500mW+1500mW(32Ω 負荷)
適合負荷インピーダンス	16 ~ 600Ω

仕様（続き）

Bluetooth 部

Bluetooth バージョン	4.2
出力クラス	Class2 (見通し通信距離*: 約 10m)
対応プロファイル	A2DP、AVRCP
対応 A2DP コーデック	LDAC、LHDC、 Qualcomm® aptX™ HD audio、 Qualcomm® aptX™ audio、 AAC、SBC
A2DP コンテンツ保護	SCMS-T
ペアリングメモリ数	最大 8
* 通信距離は目安です。周囲の環境や電波状況により変わる場合があります。	

外部コントロール

RS-232C	1
トリガー入力	1 (3.5mm モノラルミニジャック)
入力レベル	12V、1mA
トリガー出力	1 (3.5mm モノラルミニジャック)
出力レベル	12V、100mA max

一般

電源	100 V AC 50/60 Hz
消費電力	38 W
スタンバイ時	
リモコン入力端子 (RS-232C) 設定 OFF 時	0.3W
リモコン入力端子 (RS-232C) 設定 ON 時	0.7W
外形寸法	445 mm x 131 mm x 377 mm (WxHxD、突起部を含む)
質量	13.8 kg
許容動作温度	+ 5℃～+ 35℃
許容動作湿度	5%～85% (結露のないこと)
許容保管温度	- 20℃～+ 55℃

付属品

電源コード	× 1
リモコン (RC-1334)	× 1
リモコン用乾電池 (単 3)	× 2
フェルト	× 3
取扱説明書 (本書)	× 1
ご愛用者カード	× 1

仕様及び外観は改善のため予告なく変更することがあります。
取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。

保証とアフターサービス

■保証書

保証書はご愛用者カードと引き換えに発行いたします。

添付のご愛用者カードに必要な事項を御記入の上、ご購入後なるべく 1 ヶ月以内にご返送ください。保証書が届きましたら、保証内容をご確認の上、大切に保管してください。保証期間はお買い上げ日から 5 年です。

- 保証書発行には約 1 ヶ月程度かかります。あらかじめご了承ください。
- ご記入頂いたご愛用者カードのご購入日が弊社出荷日と大きく異なる場合（6 ヶ月以上ご愛用者カードの返送がない場合、ご愛用者カードでのユーザー登録をせず転売された場合等）は、保証書を発行できない場合があります。

無料修理規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で保証期間内に故障が発生した場合には、弊社サービス部門が無料修理いたします。
- 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、保証書をご提示の上、弊社サービス部門またはお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。商品を送付していただく場合の送付方法については、事前に弊社サービス部門にお問い合わせください。なお、離島および離島に準じる遠隔地への出張修理を行った場合は、出張に要する実費を申し受けます。
- ご転居、ご贈答品等でお買い上げの販売店に修理をご依頼にならない場合は、弊社サービス部門にご連絡ください。
- 次の場合には保証期間内でも有料修理となります。
 - (1) ご使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
 - (2) お買い上げ後の輸送・移動・落下などによる故障および損傷
 - (3) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷
 - (4) 接続している他の機器に起因する故障および損傷
 - (5) 業務用の長時間使用など、特に苛酷な条件下において使用された場合の故障および損傷
 - (6) 消耗品の自然消耗、磨耗、劣化や寿命部品等の交換が必要となった場合のメンテナンスやオーバーホール
 - (7) 保証書の提示がない場合
 - (8) 保証書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名（印）の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
- 保証書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
- 保証書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

■補修用性能部品の保有期間

当社は、この製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後 8 年間保有しています。

■ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談、並びにご不明な点は、お買い上げの販売店またはティアック修理センター（54 ページに記載）にお問い合わせください。

■修理を依頼されるときは

35 ページの「困ったときは」に従って調べていただき、なお異常のあるときは使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店またはティアック修理センター（54 ページに記載）にご連絡ください。なお、本体の故障もしくは不具合により発生した付随的損害（録音内容などの補償）の責についてはご容赦ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って、修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。

修理料金の仕組み

技術料：故障した製品を正常に修復するための料金です。
測定機等の設備費、技術者の人件費、技術教育費が含まれています。

部品代：修理に使用した部品代金です。
その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

出張料：製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

修理の際ご連絡いただきたい内容

型名：ネットワークDAC/プリアンプ N-05XD

シリアルナンバー：

お買い上げ日：

販売店名：

お客様のご連絡先

故障の状況(できるだけ詳しく)

■廃棄するときは

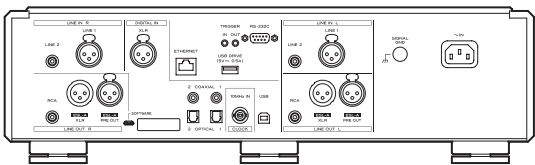
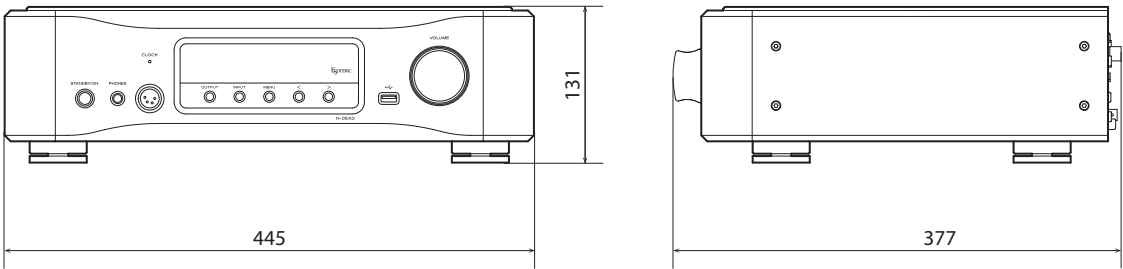
本機を廃棄する場合に必要な収集費などの費用は、お客様の負担になります。

分解・改造禁止

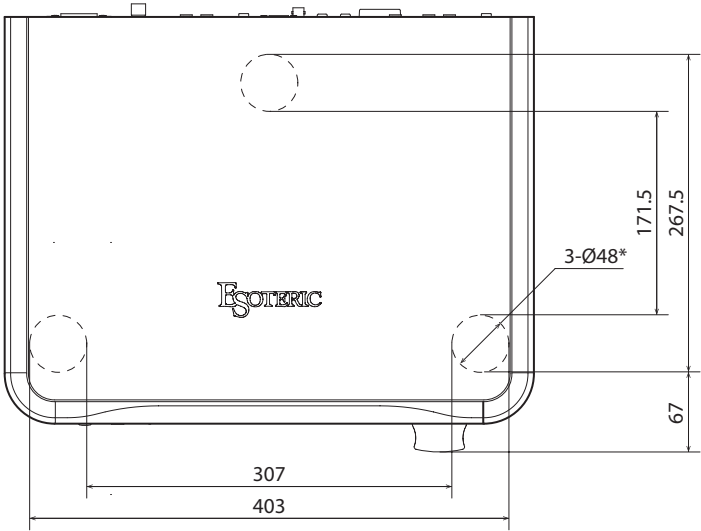
この機器は絶対に分解・改造しないでください。
この機器に対して、当社指定のサービス機関以外による修理や改造が行われた場合は、保証期間内であっても保証対象外となります。

当社指定のサービス機関以外による修理や改造によってこの機器が故障または損傷したり、人的・物的損害が生じて、当社は一切の責任を負いません。

寸法図



フット配置図



単位：mm

* 直径 48mm フット × 3

ソフトウェアに関する重要なお知らせ

本製品に搭載されるソフトウェアには、ティアック株式会社（以下「弊社」とします）が第三者より直接的に又は間接的に使用の許諾を受けたソフトウェアが含まれております。これらのソフトウェアに関する本お知らせを必ずご一読くださいますようお願い申し上げます。

GNU GPL/LGPL適用ソフトウェアに関するお知らせ

本製品には、以下の GNU General Public License(以下「GPL」とします)または GNU Lesser General Public License(以下「LGPL」とします)の適用を受けるソフトウェアが含まれております。

お客様は添付の GPL/LGPL の条件に従いこれらのソフトウェアのソースコードの入手、改変、再配布の権利があることをお知らせいたします。

パッケージリスト

linux,
bash-3.0,
mtd-utils-20101029,
e2fsprogs-1.40.4,
libtool-2.2.6,
udev-1.14,
fuse-2.8.0-pre2,
dosfstools-2.11,
cramfs-1.1,
ntfs-3g-2009.4.4,
yaffs-20101027,
busybox-1.15.3,
genext2fs-1.4.1,
libidn-1.1.9

ソースコードの入手をご希望されるお客様は、以下の URL にアクセスの上、登録フォームからご要求ください。

<http://teac-global.com/support/opensource/form/>

なお、ソースコードの内容等についてのご質問はお答えできませんので、あらかじめご了承ください。

以下、GNU GENERAL PUBLIC LICENSE、GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE の原文を記載します。

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE

Version 2.1, February 1999

Copyright (C) 1991, 1999 Free Software Foundation, Inc. 59

Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

[This is the first released version of the Lesser GPL. It also counts as the successor of the GNU Library Public License, version 2, hence the version number 2.1.]

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public Licenses are intended to guarantee your

freedom to share and change free software--to make sure the software is free for all its users.

This license, the Lesser General Public License, applies to some specially designated software packages--typically libraries--of the Free Software Foundation and other authors who decide to use it. You can use it too, but we suggest you first think carefully about whether this license or the ordinary General Public License is the better strategy to use in any particular case, based on the explanations below.

When we speak of free software, we are referring to freedom of use, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish); that you receive source code or can get it if you want it; that you can change the software and use pieces of it in new free programs; and that you are informed that you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid distributors to deny you these rights or to ask you to surrender these rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the library or if you modify it.

For example, if you distribute copies of the library, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that we gave you. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. If you link other code with the library, you must provide complete object files to the recipients, so that they can relink them with the library after making changes to the library and recompiling it. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with a two-step method: (1) we copyright the library, and (2) we offer you this license, which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the library. To protect each distributor, we want to make it very clear that there is no warranty for the free library. Also, if the library is modified by someone else and passed on, the recipients should know that what they have is not the original version, so that the original author's reputation will not be affected by problems that might be introduced by others.

Finally, software patents pose a constant threat to the existence

of any free program. We wish to make sure that a company cannot effectively restrict the users of a free program by obtaining a restrictive license from a patent holder. Therefore, we insist that any patent license obtained for a version of the library must be consistent with the full freedom of use specified in this license.

Most GNU software, including some libraries, is covered by the ordinary GNU General Public License. This license, the GNU Lesser General Public License, applies to certain designated libraries, and is quite different from the ordinary General Public License. We use this license for certain libraries in order to permit linking those libraries into non-free programs.

When a program is linked with a library, whether statically or using a shared library, the combination of the two is legally speaking a combined work, a derivative of the original library. The ordinary General Public License therefore permits such linking only if the entire combination fits its criteria of freedom. The Lesser General Public License permits more lax criteria for linking other code with the library.

We call this license the "Lesser" General Public License because it does Less to protect the user's freedom than the ordinary General Public License. It also provides other free software developers Less of an advantage over competing non-free programs. These disadvantages are the reason we use the ordinary General Public License for many libraries. However, the Lesser license provides advantages in certain special circumstances.

For example, on rare occasions, there may be a special need to encourage the widest possible use of a certain library, so that it becomes a de-facto standard. To achieve this, non-free programs must be allowed to use the library. A more frequent case is that a free library does the same job as widely used non-free libraries. In this case, there is little to gain by limiting the free library to free software only, so we use the Lesser General Public License.

In other cases, permission to use a particular library in non-free programs enables a greater number of people to use a large body of free software. For example, permission to use the GNU C Library in non-free programs enables many more people to use the whole GNU operating system, as well as its variant, the GNU/Linux operating system.

Although the Lesser General Public License is Less protective of the users' freedom, it does ensure that the user of a program that is linked with the Library has the freedom and the wherewithal to run that program using a modified version of the Library.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow. Pay close attention to the difference between a "work based on the library" and a "work that uses the library". The former contains code derived from the library, whereas the latter must be combined with the library in order to run.

TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License Agreement applies to any software library or other program which contains a notice placed by the copyright holder or other authorized party saying it may be distributed under the terms of this Lesser General Public License (also called "this License"). Each licensee is addressed as "you".

A "library" means a collection of software functions and/or data prepared so as to be conveniently linked with application programs (which use some of those functions and data) to form executables.

The "Library", below, refers to any such software library or work which has been distributed under these terms. A "work based on the Library" means either the Library or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Library or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated straightforwardly into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".)

"Source code" for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For a library, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the library.

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running a program using the Library is not restricted, and output from such a program is covered only if its contents constitute a work based on the Library (independent of the use of the Library in a tool for writing it). Whether that is true depends on what the Library does and what the program that uses the Library does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Library's complete source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and distribute a copy of this License along with the Library.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Library or any portion of it, thus forming a work based on the Library, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:
 - a) The modified work must itself be a software library.
 - b) You must cause the files modified to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.
 - c) You must cause the whole of the work to be licensed at no charge to all third parties under the terms of this License
 - d) If a facility in the modified Library refers to a function or a table of data to be supplied by an application program that uses the facility, other than as an argument passed when the facility is invoked, then you must make a good faith effort to ensure that, in the event an application does not supply such function or table, the facility still operates, and performs whatever part of its purpose remains meaningful.

(For example, a function in a library to compute square roots has a purpose that is entirely well-defined independent of the application. Therefore, Subsection 2d requires that any application-supplied function or table used by this function must

be optional: if the application does not supply it, the square root function must still compute square roots.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Library, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Library, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Library.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Library with the Library (or with a work based on the Library) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may opt to apply the terms of the ordinary GNU General Public License instead of this License to a given copy of the Library. To do this, you must alter all the notices that refer to this License, so that they refer to the ordinary GNU General Public License, version 2, instead of to this License. (If a newer version than version 2 of the ordinary GNU General Public License has appeared, then you can specify that version instead if you wish.) Do not make any other change in these notices.

Once this change is made in a given copy, it is irreversible for that copy, so the ordinary GNU General Public License applies to all subsequent copies and derivative works made from that copy.

This option is useful when you wish to copy part of the code of the Library into a program that is not a library.

4. You may copy and distribute the Library (or a portion or derivative of it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange.

If distribution of object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place satisfies the requirement to distribute the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.
5. A program that contains no derivative of any portion of the Library, but is designed to work with the Library by being compiled or linked with it, is called a "work that uses the Library". Such a work, in isolation, is not a derivative work of the Library, and therefore falls outside the scope of this License.

However, linking a "work that uses the Library" with the Library creates an executable that is a derivative of the Library (because it contains portions of the Library), rather than a "work that uses the library". The executable is therefore covered by this License. Section 6 states terms for distribution of such executables.

When a "work that uses the Library" uses material from a header file that is part of the Library, the object code for the work may be a derivative work of the Library even though the source code is not. Whether this is true is especially significant if the work can be linked without the Library, or if the work is itself a library. The threshold for this to be true is not precisely defined by law.

If such an object file uses only numerical parameters, data structure layouts and accessors, and small macros and small inline functions (ten lines or less in length), then the use of the object file is unrestricted, regardless of whether it is legally a derivative work. (Executables containing this object code plus portions of the Library will still fall under Section 6.)

Otherwise, if the work is a derivative of the Library, you may distribute the object code for the work under the terms of Section 6.

Any executables containing that work also fall under Section 6, whether or not they are linked directly with the Library itself.

ソフトウェアに関する重要なお知らせ（続き）

6. As an exception to the Sections above, you may also combine or link a "work that uses the Library" with the Library to produce a work containing portions of the Library, and distribute that work under terms of your choice, provided that the terms permit modification of the work for the customer's own use and reverse engineering for debugging such modifications.

You must give prominent notice with each copy of the work that the Library is used in it and that the Library and its use are covered by this License. You must supply a copy of this License. If the work during execution displays copyright notices, you must include the copyright notice for the Library among them, as well as a reference directing the user to the copy of this License. Also, you must do one of these things:

- a) Accompany the work with the complete corresponding machine-readable source code for the Library including whatever changes were used in the work (which must be distributed under Sections 1 and 2 above); and, if the work is an executable linked with the Library, with the complete machine-readable "work that uses the Library", as object code and/or source code, so that the user can modify the Library and then relink to produce a modified executable containing the modified Library. (It is understood that the user who changes the contents of definitions files in the Library will not necessarily be able to recompile the application to use the modified definitions.)
- b) Use a suitable shared library mechanism for linking with the Library. A suitable mechanism is one that (1) uses at run time a copy of the library already present on the user's computer system, rather than copying library functions into the executable, and (2) will operate properly with a modified version of the library, if the user installs one, as long as the modified version is interface-compatible with the version that the work was made with.
- c) Accompany the work with a written offer, valid for at least three years, to give the same user the materials specified in Subsection 6a, above, for a charge no more than the cost of performing this distribution.
- d) If distribution of the work is made by offering access to copy from a designated place, offer equivalent access to copy the above specified materials from the same place.
- e) Verify that the user has already received a copy of these materials or that you have already sent this user a copy.

For an executable, the required form of the "work that uses the Library" must include any data and utility programs needed for reproducing the executable from it. However, as a special exception, the materials to be distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

It may happen that this requirement contradicts the license restrictions of other proprietary libraries that do not normally accompany the operating system. Such a contradiction means you cannot use both them and the Library together in an executable that you distribute.

7. You may place library facilities that are a work based on the Library side-by-side in a single library together with other library facilities not covered by this License, and distribute such a combined library, provided that the separate distribution of the work based on the Library and of the other library facilities is otherwise permitted, and provided that you do these two things:
 - a) Accompany the combined library with a copy of the same work based on the Library, uncombined with any other library facilities. This must be distributed under the terms of the Sections above.
 - b) Give prominent notice with the combined library of the fact that part of it is a work based on the Library, and explaining where to find the accompanying uncombined form of the same work.
8. You may not copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights,

from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

9. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Library or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Library (or any work based on the Library), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Library or works based on it.
10. Each time you redistribute the Library (or any work based on the Library), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute, link with or modify the Library subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties with this License.
11. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Library at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Library by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Library.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply, and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/ donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

12. If the distribution and/or use of the Library is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Library under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.
13. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the Lesser General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Library specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Library does not specify a license version number, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

14. If you wish to incorporate parts of the Library into other free programs whose distribution conditions are incompatible with these, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

15. BECAUSE THE LIBRARY IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE LIBRARY, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE LIBRARY "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED

OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE LIBRARY IS WITH YOU. SHOULD THE LIBRARY PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

16. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE LIBRARY AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE LIBRARY (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE LIBRARY TO OPERATE WITH ANY OTHER SOFTWARE), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Libraries

If you develop a new library, and you want it to be of the greatest possible use to the public, we recommend making it free software that everyone can redistribute and change. You can do so by permitting redistribution under these terms (or, alternatively, under the terms of the ordinary General Public License).

To apply these terms, attach the following notices to the library. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the “copyright” line and a pointer to where the full notice is found.

<one line to give the library's name and an idea of what it does.>
Copyright (C) <year> <name of author>

This library is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU Lesser General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2.1 of the License, or (at your option) any later version.

This library is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU Lesser General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU Lesser General Public License along with this library; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.
You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a “copyright disclaimer” for the library, if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the library ‘Frob’ (a library for tweaking knobs) written by James Random Hacker.

signature of Ty Coon, 1 April 1990
Ty Coon, President of Vice

That's all there is to it!

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE

Version 2, June 1991

Copyright (C) 1989, 1991 Free Software Foundation, Inc.59
Temple Place - Suite 330, Boston, MA 02111-1307, USA

Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public License is intended to guarantee your freedom to share and change free software—to make sure the software is free for all its users. This General Public License applies to most of the Free Software Foundation's software and to any other program whose authors commit to using it. (Some other Free Software Foundation software is covered by the GNU Library General Public License instead.) You can apply it to your programs, too.

When we speak of free software, we are referring to freedom, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish), that you receive source code or can get it if you want it, that you can change the software or use pieces of it in new free programs; and that you know you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid anyone to deny you these rights or to ask you to surrender the rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the software, or if you modify it.

For example, if you distribute copies of such a program, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that you have. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with two steps: (1) copyright the software, and (2) offer you this license which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the software.

Also, for each author's protection and ours, we want to make certain that everyone understands that there is no warranty for this free software. If the software is modified by someone else and passed on, we want its recipients to know that what they have is not the original, so that any problems introduced by others will not reflect on the original authors' reputations.

Finally, any free program is threatened constantly by software patents. We wish to avoid the danger that redistributors of a free program will individually obtain patent licenses, in effect making the program proprietary. To prevent this, we have made it clear that any patent must be licensed for everyone's free use or not licensed at all.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow.

TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License applies to any program or other work which contains a notice placed by the copyright holder saying it may be distributed under the terms of this General Public License. The “Program”, below, refers to any such program or work, and a “work based on the Program” means either the Program or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Program or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term “modification”.) Each licensee is addressed as “you”.

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running the Program is not restricted, and the output from the Program is covered only if its contents constitute a work based on the Program (independent of having been made by running the Program). Whether that is true depends on what the Program does.

ソフトウェアに関する重要なお知らせ（続き）

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Program's source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and give any other recipients of the Program a copy of this License along with the Program.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Program or any portion of it, thus forming a work based on the Program, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

- a) You must cause the modified files to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.
- b) You must cause any work that you distribute or publish, that in whole or in part contains or is derived from the Program or any part thereof, to be licensed as a whole at no charge to all third parties under the terms of this License.
- c) If the modified program normally reads commands interactively when run, you must cause it, when started running for such interactive use in the most ordinary way, to print or display an announcement including an appropriate copyright notice and a notice that there is no warranty (or else, saying that you provide a warranty) and that users may redistribute the program under these conditions, and telling the user how to view a copy of this License. (Exception: if the Program itself is interactive but does not normally print such an announcement, your work based on the Program is not required to print an announcement.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Program, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Program, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Program.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Program with the Program (or with a work based on the Program) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may copy and distribute the Program (or a work based on it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you also do one of the following:

- a) Accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,
- b) Accompany it with a written offer, valid for at least three years, to give any third party, for a charge no more than your cost of physically performing source distribution, a complete machine-readable copy of the corresponding source code, to be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,
- c) Accompany it with the information you received as to the offer to distribute corresponding source code. (This alternative is allowed only for noncommercial distribution and only if you received the program in object code or executable form with such an offer, in accord with Subsection b above.)

The source code for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For an executable work, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the executable. However, as a special exception, the source code distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components

(compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

If distribution of executable or object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place counts as distribution of the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

4. You may not copy, modify, sublicense, or distribute the Program except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense or distribute the Program is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

5. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Program or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Program (or any work based on the Program), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Program or works based on it.

6. Each time you redistribute the Program (or any work based on the Program), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute or modify the Program subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties to this License.

7. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Program at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Program by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Program.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system, which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/ donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

8. If the distribution and/or use of the Program is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Program under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.
9. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Program specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Program does not specify a version number of this License, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

10.If you wish to incorporate parts of the Program into other free programs whose distribution conditions are different, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

11.BECAUSE THE PROGRAM IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE PROGRAM, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE PROGRAM "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE PROGRAM IS WITH YOU. SHOULD THE PROGRAM PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

12.IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE PROGRAM AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE PROGRAM (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE PROGRAM TO OPERATE WITH ANY OTHER PROGRAMS), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Programs

If you develop a new program, and you want it to be of the greatest possible use to the public, the best way to achieve this is to make it free software which everyone can redistribute and change under these terms.

To do so, attach the following notices to the program. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<one line to give the program's name and an idea of what it does>
Copyright (C) <year> <name of author>

This program is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2 of the License, or (at your option) any later version.

This program is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU General Public License along with this program; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 59 Temple Place - Suite 330, Boston, MA 02111-1307, USA.

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

If the program is interactive, make it output a short notice like this when it starts in an interactive mode:

Gnomovision version 69, Copyright (C) year name of author Gnomovision comes with ABSOLUTELY NO WARRANTY; for details type 'show w'. This is free software, and you are welcome to redistribute it under certain conditions; type 'show c' for details.

The hypothetical commands 'show w' and 'show c' should show the appropriate parts of the General Public License. Of course, the commands you use may be called something other than 'show w' and 'show c'; they could even be mouse-clicks or menu items--whatever suits your program.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the program, if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the program 'Gnomovision' (which makes passes at compilers) written by James Hacker.
<signature of Ty Coon>, 1 April 1989
Ty Coon, President of Vice

This General Public License does not permit incorporating your program into proprietary programs. If your program is a subroutine library, you may consider it more useful to permit linking proprietary applications with the library. If this is what you want to do, use the GNU Library General Public License instead of this License.

その他第三者ソフトウェアに関するお知らせ

本製品には弊社が第三者より直接的に又は間接的に使用の許諾を受けた下記ソフトウェアが含まれております。

1. alac-20111026
2. mDNSResponder-214.3.2
3. libFLAC 1.2.1
4. dmalloc-5.5.2
5. jpeg-6b
6. libpng-1.2.35
7. tiff-3.8.2
8. libungif-4.1.4
9. jansson-2.4
10. ncurses-5.2
11. libcurl-7.19.5
12. ntp-4.2.4p0
13. openssl-0.9.8r
14. tinyxml-2.5.3
15. zlib-1.2.3

当該ソフトウェアの著作権者の要求に基づき、弊社は以下の内容をお客様に通知いたします。

(1) alac-20111026

Apache License

Version 2.0, January 2004

<http://www.apache.org/licenses/>

TERMS AND CONDITIONS FOR USE, REPRODUCTION, AND DISTRIBUTION

1. Definitions.

"License" shall mean the terms and conditions for use, reproduction, and distribution as defined by Sections 1 through 9 of this document.

"Licensor" shall mean the copyright owner or entity authorized by the copyright owner that is granting the License.

"Legal Entity" shall mean the union of the acting entity and all other entities that control, are controlled by, or are under common control with that entity. For the purposes of this definition, "control" means (i) the power, direct or indirect, to cause the direction or management of such entity, whether by contract or otherwise, or (ii) ownership of fifty percent (50%) or more of the outstanding shares, or (iii) beneficial ownership of such entity.

ソフトウェアに関する重要なお知らせ（続き）

"You" (or "Your") shall mean an individual or Legal Entity exercising permissions granted by this License.

"Source" form shall mean the preferred form for making modifications, including but not limited to software source code, documentation source, and configuration files.

"Object" form shall mean any form resulting from mechanical transformation or translation of a Source form, including but not limited to compiled object code, generated documentation, and conversions to other media types.

"Work" shall mean the work of authorship, whether in Source or Object form, made available under the License, as indicated by a copyright notice that is included in or attached to the work (an example is provided in the Appendix below).

"Derivative Works" shall mean any work, whether in Source or Object form, that is based on (or derived from) the Work and for which the editorial revisions, annotations, elaborations, or other modifications represent, as a whole, an original work of authorship. For the purposes of this License, Derivative Works shall not include works that remain separable from, or merely link (or bind by name) to the interfaces of, the Work and Derivative Works thereof.

"Contribution" shall mean any work of authorship, including the original version of the Work and any modifications or additions to that Work or Derivative Works thereof, that is intentionally submitted to Licensor for inclusion in the Work by the copyright owner or by an individual or Legal Entity authorized to submit on behalf of the copyright owner. For the purposes of this definition, "submitted" means any form of electronic, verbal, or written communication sent to the Licensor or its representatives, including but not limited to communication on electronic mailing lists, source code control systems, and issue tracking systems that are managed by, or on behalf of, the Licensor for the purpose of discussing and improving the Work, but excluding communication that is conspicuously marked or otherwise designated in writing by the copyright owner as "Not a Contribution."

"Contributor" shall mean Licensor and any individual or Legal Entity on behalf of whom a Contribution has been received by Licensor and subsequently incorporated within the Work.

2. Grant of Copyright License.

Subject to the terms and conditions of this License, each Contributor hereby grants to You a perpetual, worldwide, non-exclusive, no-charge, royalty-free, irrevocable copyright license to reproduce, prepare Derivative Works of, publicly display, publicly perform, sublicense, and distribute the Work and such Derivative Works in Source or Object form.

3. Grant of Patent License.

Subject to the terms and conditions of this License, each Contributor hereby grants to You a perpetual, worldwide, non-exclusive, no-charge, royalty-free, irrevocable (except as stated in this section) patent license to make, have made, use, offer to sell, sell, import, and otherwise transfer the Work, where such license applies only to those patent claims licensable by such Contributor that are necessarily infringed by their Contribution(s) alone or by combination of their Contribution(s) with the Work to which such Contribution(s) was submitted. If You institute patent litigation against any entity (including a cross-claim or counterclaim in a lawsuit) alleging that the Work or a Contribution incorporated within the Work constitutes direct or contributory patent infringement, then any patent licenses granted to You under this License for that Work shall terminate as of the date such litigation is filed.

4. Redistribution.

You may reproduce and distribute copies of the Work or Derivative Works thereof in any medium, with or without modifications, and in Source or Object form, provided that You meet the following conditions:

- You must give any other recipients of the Work or Derivative Works a copy of this License; and
- You must cause any modified files to carry prominent notices stating that You changed the files; and
- You must retain, in the Source form of any Derivative Works that You distribute, all copyright, patent, trademark, and attribution notices from the Source form of the Work, excluding those notices that do not pertain to any part of the Derivative Works; and
- If the Work includes a "NOTICE" text file as part of its distribution, then any Derivative Works that You distribute must include a readable copy of the attribution notices contained within such NOTICE file, excluding those notices that

do not pertain to any part of the Derivative Works, in at least one of the following places: within a NOTICE text file distributed as part of the Derivative Works; within the Source form or documentation, if provided along with the Derivative Works; or, within a display generated by the Derivative Works, if and wherever such third-party notices normally appear. The contents of the NOTICE file are for informational purposes only and do not modify the License. You may add Your own attribution notices within Derivative Works that You distribute, alongside or as an addendum to the NOTICE text from the Work, provided that such additional attribution notices cannot be construed as modifying the License.

You may add Your own copyright statement to Your modifications and may provide additional or different license terms and conditions for use, reproduction, or distribution of Your modifications, or for any such Derivative Works as a whole, provided Your use, reproduction, and distribution of the Work otherwise complies with the conditions stated in this License.

5. Submission of Contributions.

Unless You explicitly state otherwise, any Contribution intentionally submitted for inclusion in the Work by You to the Licensor shall be under the terms and conditions of this License, without any additional terms or conditions. Notwithstanding the above, nothing herein shall supersede or modify the terms of any separate license agreement you may have executed with Licensor regarding such Contributions.

6. Trademarks.

This License does not grant permission to use the trade names, trademarks, service marks, or product names of the Licensor, except as required for reasonable and customary use in describing the origin of the Work and reproducing the content of the NOTICE file.

7. Disclaimer of Warranty.

Unless required by applicable law or agreed to in writing, Licensor provides the Work (and each Contributor provides its Contributions) on an "AS IS" BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied, including, without limitation, any warranties or conditions of TITLE, NON-INFRINGEMENT, MERCHANTABILITY, or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. You are solely responsible for determining the appropriateness of using or redistributing the Work and assume any risks associated with Your exercise of permissions under this License.

8. Limitation of Liability.

In no event and under no legal theory, whether in tort (including negligence), contract, or otherwise, unless required by applicable law (such as deliberate and grossly negligent acts) or agreed to in writing, shall any Contributor be liable to You for damages, including any direct, indirect, special, incidental, or consequential damages of any character arising as a result of this License or out of the use or inability to use the Work (including but not limited to damages for loss of goodwill, work stoppage, computer failure or malfunction, or any and all other commercial damages or losses), even if such Contributor has been advised of the possibility of such damages.

9. Accepting Warranty or Additional Liability.

While redistributing the Work or Derivative Works thereof, You may choose to offer, and charge a fee for, acceptance of support, warranty, indemnity, or other liability obligations and/or rights consistent with this License. However, in accepting such obligations, You may act only on Your own behalf and on Your sole responsibility, not on behalf of any other Contributor, and only if You agree to indemnify, defend, and hold each Contributor harmless for any liability incurred by, or claims asserted against, such Contributor by reason of your accepting any such warranty or additional liability.

END OF TERMS AND CONDITIONS

APPENDIX: How to apply the Apache License to your work.

To apply the Apache License to your work, attach the following boilerplate notice, with the fields enclosed by brackets "[]" replaced with your own identifying information. (Don't include the brackets!) The text should be enclosed in the appropriate comment syntax for the file format. We also recommend that a file or class name and description of purpose be included on the same "printed page" as the copyright notice for easier identification within third-party archives.

Copyright [yyyy] [name of copyright owner]

Licensed under the Apache License, Version 2.0 (the "License");

you may not use this file except in compliance with the License.
You may obtain a copy of the License at

<http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0>

Unless required by applicable law or agreed to in writing, software distributed under the License is distributed on an "AS IS" BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied.

See the License for the specific language governing permissions and limitations under the License.

(2) mDNSResponder-214.3.2

The majority of the source code in the mDNSResponder project is licensed under the terms of the Apache License, Version 2.0, available from:

<<http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0>>

To accommodate license compatibility with the widest possible range of client code licenses, the shared library code, which is linked at runtime into the same address space as the client using it, is licensed under the terms of the "Three-Clause BSD License".

The Linux Name Service Switch code, contributed by National ICT Australia Ltd (NICTA) is licensed under the terms of the NICTA Public Software Licence (which is substantially similar to the "Three-Clause BSD License", with some additional language pertaining to Australian law).

(3) libFLAC 1.2.1

Copyright (C) 2000,2001,2002,2003,2004,2005,2006,2007 Josh Coalson

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of the Xiph.org Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

(4) dmalloc-5.5.2

Copyright 1992 to 2007 by Gray Watson.

Permission to use, copy, modify, and distribute this software for any purpose and without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice and this permission notice appear in all copies, and that the name of Gray Watson not be used in advertising or publicity pertaining to distribution of the document or software without specific, written prior permission.

Gray Watson makes no representations about the suitability of the software described herein for any purpose. It is provided "as is" without express or implied warranty.

(5) jpeg-6b

In plain English:

1. We don't promise that this software works. (But if you find any bugs, please let us know!)
2. You can use this software for whatever you want. You don't have to pay us.
3. You may not pretend that you wrote this software. If you use it in a program, you must acknowledge somewhere in your documentation that you've used the IJG code.

In legalese:

The authors make NO WARRANTY or representation, either express or implied, with respect to this software, its quality, accuracy, merchantability, or fitness for a particular purpose. This software is provided "AS IS", and you, its user, assume the entire risk as to its quality and accuracy.

This software is copyright (C) 1991-1998, Thomas G. Lane.

All Rights Reserved except as specified below.

Permission is hereby granted to use, copy, modify, and distribute this software (or portions thereof) for any purpose, without fee, subject to these conditions:

- (1) If any part of the source code for this software is distributed, then this README file must be included, with this copyright and no-warranty notice unaltered; and any additions, deletions, or changes to the original files must be clearly indicated in accompanying documentation.
- (2) If only executable code is distributed, then the accompanying documentation must state that "this software is based in part on the work of the Independent JPEG Group".
- (3) Permission for use of this software is granted only if the user accepts full responsibility for any undesirable consequences; the authors accept NO LIABILITY for damages of any kind.

These conditions apply to any software derived from or based on the IJG code, not just to the unmodified library. If you use our work, you ought to acknowledge us.

Permission is NOT granted for the use of any IJG author's name or company name in advertising or publicity relating to this software or products derived from it. This software may be referred to only as "the Independent JPEG Group's software".

We specifically permit and encourage the use of this software as the basis of commercial products, provided that all warranty or liability claims are assumed by the product vendor.

ansi2knr.c is included in this distribution by permission of L. Peter Deutsch, sole proprietor of its copyright holder, Aladdin Enterprises of Menlo Park, CA. ansi2knr.c is NOT covered by the above copyright and conditions, but instead by the usual distribution terms of the Free Software Foundation; principally, that you must include source code if you redistribute it. (See the file ansi2knr.c for full details.) However, since ansi2knr.c is not needed as part of any program generated from the IJG code, this does not limit you more than the foregoing paragraphs do.

The Unix configuration script "configure" was produced with GNU Autoconf. It is copyright by the Free Software Foundation but is freely distributable. The same holds for its supporting scripts (config.guess, config.sub, ltconfig, ltmain.sh). Another support script, install-sh, is copyright by M.I.T. but is also freely distributable.

It appears that the arithmetic coding option of the JPEG spec is covered by patents owned by IBM, AT&T, and Mitsubishi. Hence arithmetic coding cannot legally be used without obtaining one or more licenses. For this reason, support for arithmetic coding has been removed from the free JPEG software. (Since arithmetic coding provides only a marginal gain over the unpatented Huffman mode, it is unlikely that very many implementations will support it.) So far as we are aware, there are no patent restrictions on the remaining code.

The IJG distribution formerly included code to read and write GIF files. To avoid entanglement with the Unisys LZW patent, GIF reading support has been removed altogether, and the GIF writer has been simplified to produce "uncompressed GIFs". This technique does not use the LZW algorithm; the resulting GIF files are larger than usual, but are readable by all standard GIF decoders.

We are required to state that

"The Graphics Interchange Format(c) is the Copyright property of

ソフトウェアに関する重要なお知らせ（続き）

CompuServe Incorporated. GIF(sm) is a Service Mark property of CompuServe Incorporated."

(6) libpng-1.2.35

This copy of the libpng notices is provided for your convenience. In case of any discrepancy between this copy and the notices in the file png.h that is included in the libpng distribution, the latter shall prevail.

COPYRIGHT NOTICE, DISCLAIMER, and LICENSE:

If you modify libpng you may insert additional notices immediately following this sentence.

libpng versions 1.2.6, August 15, 2004, through 1.2.35, February 14, 2009, are Copyright (c) 2004, 2006-2008 Glenn Randers-Pehrson, and are distributed according to the same disclaimer and license as libpng-1.2.5 with the following individual added to the list of Contributing Authors

Cosmin Truta

libpng versions 1.0.7, July 1, 2000, through 1.2.5 - October 3, 2002, are Copyright (c) 2000-2002 Glenn Randers-Pehrson, and are distributed according to the same disclaimer and license as libpng-1.0.6 with the following individuals added to the list of Contributing Authors

Simon-Pierre Cadieux
Eric S. Raymond
Gilles Vollant

and with the following additions to the disclaimer:

There is no warranty against interference with your enjoyment of the library or against infringement. There is no warranty that our efforts or the library will fulfill any of your particular purposes or needs. This library is provided with all faults, and the entire risk of satisfactory quality, performance, accuracy, and effort is with the user.

libpng versions 0.97, January 1998, through 1.0.6, March 20, 2000, are Copyright (c) 1998, 1999 Glenn Randers-Pehrson, and are distributed according to the same disclaimer and license as libpng-0.96, with the following individuals added to the list of Contributing Authors:

Tom Lane
Glenn Randers-Pehrson
Willem van Schaik

libpng versions 0.89, June 1996, through 0.96, May 1997, are Copyright (c) 1996, 1997 Andreas Dilger Distributed according to the same disclaimer and license as libpng-0.88, with the following individuals added to the list of Contributing Authors:

John Bowler
Kevin Bracey
Sam Bushell
Magnus Holmgren
Greg Roelofs
Tom Tanner

libpng versions 0.5, May 1995, through 0.88, January 1996, are Copyright (c) 1995, 1996 Guy Eric Schalnat, Group 42, Inc.

For the purposes of this copyright and license, "Contributing Authors" is defined as the following set of individuals:

Andreas Dilger
Dave Martindale
Guy Eric Schalnat

Paul Schmidt
Tim Wegner

The PNG Reference Library is supplied "AS IS". The Contributing Authors and Group 42, Inc. disclaim all warranties, expressed or implied, including, without limitation, the warranties of merchantability and of fitness for any purpose. The Contributing Authors and Group 42, Inc. assume no liability for direct, indirect, incidental, special, exemplary, or consequential damages, which may result from the use of the PNG Reference Library, even if advised of the possibility of such damage.

Permission is hereby granted to use, copy, modify, and distribute this source code, or portions hereof, for any purpose, without fee, subject to the following restrictions:

1. The origin of this source code must not be misrepresented.
2. Altered versions must be plainly marked as such and must not be misrepresented as being the original source.
3. This Copyright notice may not be removed or altered from any source or altered source distribution.

The Contributing Authors and Group 42, Inc. specifically permit, without fee, and encourage the use of this source code as a component to supporting the PNG file format in commercial products. If you use this source code in a product, acknowledgment is not required but would be appreciated.

A "png_get_copyright" function is available, for convenient use in "about" boxes and the like:

```
printf("%s",png_get_copyright(NULL));
```

Also, the PNG logo (in PNG format, of course) is supplied in the files "pngbar.png" and "pngbar.jpg (88x31)" and "pngnow.png" (98x31).

Libpng is OSI Certified Open Source Software. OSI Certified Open Source is a certification mark of the Open Source Initiative.

Glenn Randers-Pehrson
glennrp at users.sourceforge.net
February 14, 2009

(7) tiff-3.8.2

Copyright (c) 1988-1997 Sam Leffler
Copyright (c) 1991-1997 Silicon Graphics, Inc.

Permission to use, copy, modify, distribute, and sell this software and its documentation for any purpose is hereby granted without fee, provided that (i) the above copyright notices and this permission notice appear in all copies of the software and related documentation, and (ii) the names of Sam Leffler and Silicon Graphics may not be used in any advertising or publicity relating to the software without the specific, prior written permission of Sam Leffler and Silicon Graphics.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS-IS" AND WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS, IMPLIED OR OTHERWISE, INCLUDING WITHOUT LIMITATION, ANY WARRANTY OF MERCHANTABILITY OR FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.

IN NO EVENT SHALL SAM LEFFLER OR SILICON GRAPHICS BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, INCIDENTAL, INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OF ANY KIND, OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER OR NOT ADVISED OF THE POSSIBILITY OF DAMAGE, AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

(8) libungif-4.1.4

The GIFLIB distribution is Copyright (c) 1997 Eric S. Raymond

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

(9) jansson-2.4

Copyright (c) 2009-2012 Petri Lehtinen <petri@digip.org>

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

(10) ncurses-5.2

```
/*
 * Copyright (c) 1998,1999,2000 Free Software Foundation, Inc.
 *
 * Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a
 * copy of this software and associated documentation files (the
 * "Software"), to deal in the Software without restriction, including
 * without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish,
 * distribute, distribute with modifications, sublicense, and/or sell
 * copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is
 * furnished to do so, subject to the following conditions:
 *
 * The above copyright notice and this permission notice shall be included
 * in all copies or substantial portions of the Software.
 *
 * THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS
 * OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF
 * MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT.
 * IN NO EVENT SHALL THE ABOVE COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM,
 * DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR
 * OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR
```

```
* THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.
*
* Except as contained in this notice, the name(s) of the above copyright
* holders shall not be used in advertising or otherwise to promote the
* sale, use or other dealings in this Software without prior written
* authorization.
*/
/*****
/*****
* Author: Zeyd M. Ben-Halim <zmbenhal@netcom.com> 1992,1995
* and: Eric S. Raymond <esr@snark.thyrsus.com>
*****/
```

(11) libcurl-7.19.5

COPYRIGHT AND PERMISSION NOTICE

Copyright (c) 1996 - 2009, Daniel Stenberg, <daniel@haxx.se>.

All rights reserved.

Permission to use, copy, modify, and distribute this software for any purpose with or without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice and this permission notice appear in all copies.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT OF THIRD PARTY RIGHTS. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

Except as contained in this notice, the name of a copyright holder shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealings in this Software without prior written authorization of the copyright holder.

(12) ntp-4.2.4p0

This file is automatically generated from html/copyright.html

Copyright Notice

jpg "Clone me," says Dolly sheepishly
Last update: 20:31 UTC Saturday, January 06, 2007

The following copyright notice applies to all files collectively called the Network Time Protocol Version 4 Distribution. Unless specifically declared otherwise in an individual file, this notice applies as if the text was explicitly included in the file.

Copyright (c) David L. Mills 1992-2007

Permission to use, copy, modify, and distribute this software and its documentation for any purpose with or without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice appears in all copies and that both the copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation, and that the name University of Delaware not be used in advertising or publicity pertaining to distribution of the software without specific, written prior permission. The University of Delaware makes no representations about the suitability this software for any purpose. It is provided "as is" without express or implied warranty.

ソフトウェアに関する重要なお知らせ (続き)

The following individuals contributed in part to the Network Time Protocol Distribution Version 4 and are acknowledged as authors of this work.

1. [1]Mark Andrews <mark_andrews@isc.org> Leitch atomic clock controller
2. [2]Bernd Altmeyer <altmeier@atsoft.de> hopf Elektronik serial line and PCI-bus devices
3. [3]Viraj Bais <vbais@mailman1.intel.com> and [4]Clayton Kirkwood <kirkwood@striderfm.intel.com> port to WindowsNT 3.5
4. [5]Michael Barone <michael.barone@lmco.com> GPSVME fixes
5. [6]Jean-Francois Boudreault <Jean-Francois.Boudreault@viagenie.qc.ca> IPv6 support
6. [7]Karl Berry <karl@owl.HQ.leaf.com> syslog to file option
7. [8]Greg Brackley <greg.brackley@bigfoot.com> Major rework of WINNT port. Clean up recvbuf and iosignal code into separate modules.
8. [9]Marc Brett <Marc.Brett@westgeo.com> Magnavox GPS clock driver
9. [10]Piete Brooks <Piete.Brooks@cl.cam.ac.uk> MSF clock driver, Trimble PARSE support
- 10.[11]Reg Clemens <reg@dwf.com> Oncore driver (Current maintainer)
- 11.[12]Steve Clift <clift@ml.csiro.au> OMEGA clock driver
- 12.[13]Casey Crellin <casey@csc.co.za> vxWorks (Tornado) port and help with target configuration
- 13.[14]Sven Dietrich <sven_dietrich@trimble.com> Palisade reference clock driver, NT adj. residuals, integrated Greg's Winnt port.
- 14.[15]John A. Dundas III <dundas@salt.jpl.nasa.gov> Apple A/UX port
- 15.[16]Torsten Duwe <duwe@immd4.informatik.uni-erlangen.de> Linux port
- 16.[17]Dennis Ferguson <dennis@mrbill.canet.ca> foundation code for NTP Version 2 as specified in RFC-1119
- 17.[18]John Hay <jhay@icomtek.csir.co.za> IPv6 support and testing
- 18.[19]Glenn Hollinger <glenn@herald.usask.ca> GOES clock driver
- 19.[20]Mike Iglesias <iglesias@uci.edu> DEC Alpha port
- 20.[21]Jim Jagielski <jim@jagubox.gsfc.nasa.gov> A/UX port
- 21.[22]Jeff Johnson <jbj@chatham.usdesign.com> massive prototyping overhaul
- 22.[23]Hans Lambermont <Hans.Lambermont@nl.origin-it.com> or [24]<H.Lambermont@chello.nl> ntpswep
- 23.[25]Poul-Henning Kamp <phk@FreeBSD.ORG> Oncore driver (Original author)
- 24.[26]Frank Kardel [27]<kardel(at)ntp(dot)org> PARSE <GENERIC> driver (>14 reference clocks), STREAMS modules for PARSE, support scripts, syslog cleanup, dynamic interface handling
25. [28]William L. Jones <jones@hermes.chpc.utexas.edu> RS/6000 AIX modifications, HPUX modifications
- 26.[29]Dave Katz <dkatz@cisco.com> RS/6000 AIX port
- 27.[30]Craig Leres <leres@ee.lbl.gov> 4.4BSD port, ppsclock, MagnavoxGPS clock driver
- 28.[31]George Lindholm <lindholm@ucs.ubc.ca> SunOS 5.1 port
- 29.[32]Louis A. Mamakos <louie@ni.umd.edu> MD5- based authentication
- 30.[33]Lars H. Mathiesen <thorinn@diku.dk> adaptation of foundation code for Version 3 as specified in RFC-1305
- 31.[34]Danny Mayer <mayer@ntp.org> Network I/O, Windows Port, Code Maintenance
- 32.[35]David L. Mills <mills@udel.edu> Version 4 foundation: clock discipline, authentication, precision kernel; clock drivers: Spectracom, Astron, Arbiter, Heath, ATOM, ACTS, KSI/Odetics; audio clock drivers: CHU, WWW/H, IRIG
- 33.[36]Wolfgang Moeller <moeller@gwdgv1.dnet.gwdg.de> VMS port
- 34.[37]Jeffrey Mogul <mogul@pa.dec.com> ntptace utility
- 35.[38]Tom Moore <tmoore@fielvel.daytonoh.ncr.com> i386 svr4 port
- 36.[39]Kamal A Mostafa <kamal@whence.com> SCO OpenServer port
- 37.[40]Derek Mulcahy <derek@toybox.demon.co.uk> and [41]Damon Hart-Davis <d@hd.org> ARCRON MSF clock driver
- 38.[42]Rainer Pruy <Rainer.Pruy@informatik.uni-erlangen.de> monitoring/trap scripts, statistics file handling
- 39.[43]Dirce Richards <dirce@zk3.dec.com> Digital UNIX V4.0 port
- 40.[44]Wilfredo Sanchez <wsanchez@apple.com> added support for NetInfo
- 41.[45]Nick Sayer <mrapple@quack.kfu.com> SunOS streams modules
- 42.[46]Jack Sasportas <jack@innovativeinternet.com> Saved a Lot of space on the stuff in the html/pic/ subdirectory
- 43.[47]Ray Schnitzler <schnitz@unipress.com> Unixware1 port
- 44.[48]Michael Shields <shields@tembel.org> USNO clock driver
- 45.[49]Jeff Steinman <jss@pebbles.jpl.nasa.gov> Datum PTS clock driver

- 46.[50]Harlan Stenn <harlan@pfcs.com> GNU automake/autoconfigure makeover, various other bits (see the ChangeLog)
- 47.[51]Kenneth Stone <ken@sdd.hp.com> HP-UX port
- 48.[52]Ajit Thyagarajan <ajit@ee.udel.edu> IP multicast/anycast support
- 49.[53]Tomoaki TSURUOKA <tsuruoka@nc.fukuoka-u.ac.jp> TRAK clock driver
- 50.[54]Paul A Vixie <vixie@vix.com> TrueTime GPS driver, generic TrueTime clock driver
- 51.[55]Ulrich Windl <Ulrich.Windl@rz.uni-regensburg.de> corrected and validated HTML documents according to the HTML DTD

References

1. mailto: mark_andrews@isc.org
2. mailto: altmeier@atsoft.de
3. mailto: vbais@mailman1.intel.co
4. mailto: kirkwood@striderfm.intel.com
5. mailto: michael.barone@lmco.com
6. mailto: Jean-Francois.Boudreault@viagenie.qc.ca
7. mailto: karl@owl.HQ.leaf.com
8. mailto: greg.brackley@bigfoot.com
9. mailto: Marc.Brett@westgeo.com
- 10.mailto: Piete.Brooks@cl.cam.ac.uk
- 11.mailto: reg@dwf.com
- 12.mailto: clift@ml.csiro.au
- 13.mailto: casey@csc.co.za
- 14.mailto: Sven_Dietrich@trimble.COM
- 15.mailto: dundas@salt.jpl.nasa.gov
- 16.mailto: duwe@immd4.informatik.uni-erlangen.de
- 17.mailto: dennis@mrbill.canet.ca
- 18.mailto: jhay@icomtek.csir.co.za
- 19.mailto: glenn@herald.usask.ca
- 20.mailto: iglesias@uci.edu
- 21.mailto: jagubox.gsfc.nasa.gov
- 22.mailto: jbj@chatham.usdesign.com
- 23.mailto: Hans.Lambermont@nl.origin-it.com
- 24.mailto: H.Lambermont@chello.nl
- 25.mailto: phk@FreeBSD.ORG
- 26.http://www4.informatik.uni-erlangen.de/%7ekardel
- 27.mailto: kardel(at)ntp(dot)org
- 28.mailto: jones@hermes.chpc.utexas.edu
- 29.mailto: dkatz@cisco.com
- 30.mailto: leres@ee.lbl.gov
- 31.mailto: lindholm@ucs.ubc.ca
- 32.mailto: louie@ni.umd.edu
- 33.mailto: thorinn@diku.dk
- 34.mailto: mayer@ntp.org
- 35.mailto: mills@udel.edu
- 36.mailto: moeller@gwdgv1.dnet.gwdg.de
- 37.mailto: mogul@pa.dec.com
- 38.mailto: tmoore@fielvel.daytonoh.ncr.com
- 39.mailto: kamal@whence.com
- 40.mailto: derek@toybox.demon.co.uk
- 41.mailto: d@hd.org
- 42.mailto: Rainer.Pruy@informatik.uni-erlangen.de
- 43.mailto: dirce@zk3.dec.com
- 44.mailto: wsanchez@apple.com
- 45.mailto: mrapple@quack.kfu.com
- 46.mailto: jack@innovativeinternet.com
- 47.mailto: schnitz@unipress.com
- 48.mailto: shields@tembel.org
- 49.mailto: pebbles.jpl.nasa.gov
- 50.mailto: harlan@pfcs.com
- 51.mailto: ken@sdd.hp.com
- 52.mailto: ajit@ee.udel.edu
- 53.mailto: tsuruoka@nc.fukuoka-u.ac.jp

54.mailto: vixie@vix.com
55.mailto: Ulrich.Windl@z.uni-regensburg.de

(13) OpenSSL-0.9.8r

LICENSE ISSUES

The OpenSSL toolkit stays under a dual license, i.e. both the conditions of the OpenSSL License and the original SSLeay license apply to the toolkit. See below for the actual license texts. Actually both licenses are BSD-style Open Source licenses. In case of any license issues related to OpenSSL please contact openssl-core@openssl.org.

OpenSSL License

```
/* =====  
=====
```

* Copyright (c) 1998-2011 The OpenSSL Project. All rights reserved.
*
* Redistribution and use in source and binary forms, with or without
* modification, are permitted provided that the following conditions
* are met:
*
* 1. Redistributions of source code must retain the above copyright
* notice, this list of conditions and the following disclaimer.
*
* 2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright
* notice, this list of conditions and the following disclaimer in
* the documentation and/or other materials provided with the
* distribution.
*
* 3. All advertising materials mentioning features or use of this
* software must display the following acknowledgment:
* "This product includes software developed by the OpenSSL Project
* for use in the OpenSSL Toolkit. (<http://www.openssl.org/>)"
*
* 4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to
* endorse or promote products derived from this software without
* prior written permission. For written permission, please contact
* openssl-core@openssl.org.
*
* 5. Products derived from this software may not be called "OpenSSL"
* nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written
* permission of the OpenSSL Project.
*
* 6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following
* acknowledgment:
* "This product includes software developed by the OpenSSL Project
* for use in the OpenSSL Toolkit (<http://www.openssl.org/>)"
*
* THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT ``AS IS'' AND ANY
* EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE
* IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR
* PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR
* ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL,
* SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT
* NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES;
* LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)
* HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT,
* STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE)

* ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED
* OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

```
* =====  
=====
```

*
* This product includes cryptographic software written by Eric Young
* (eay@cryptsoft.com). This product includes software written by Tim
* Hudson (tjh@cryptsoft.com).
*
*/

Original SSLeay License

```
/* Copyright (C) 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com)  
* All rights reserved.  
*  
* This package is an SSL implementation written  
* by Eric Young (eay@cryptsoft.com).  
* The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.  
*  
* This library is free for commercial and non-commercial use as long as  
* the following conditions are aheared to. The following conditions  
* apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA,  
* lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation  
* included with this distribution is covered by the same copyright terms  
* except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).  
*  
* Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in  
* the code are not to be removed.  
* If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution  
* as the author of the parts of the library used.  
* This can be in the form of a textual message at program startup or  
* in documentation (online or textual) provided with the package.  
*  
* Redistribution and use in source and binary forms, with or without  
* modification, are permitted provided that the following conditions  
* are met:  
* 1. Redistributions of source code must retain the copyright  
* notice, this list of conditions and the following disclaimer.  
* 2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright  
* notice, this list of conditions and the following disclaimer in the  
* documentation and/or other materials provided with the distribution.  
* 3. All advertising materials mentioning features or use of this software  
* must display the following acknowledgement:  
* "This product includes cryptographic software written by  
* Eric Young (eay@cryptsoft.com)"  
* The word 'cryptographic' can be left out if the rouines from the library  
* being used are not cryptographic related :-).  
* 4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from  
* the apps directory (application code) you must include an acknowledgement:  
* "This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"  
*  
* THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG ``AS IS'' AND  
* ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE  
* IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR  
* PURPOSE  
* ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE  
* FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL  
* DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS  
* OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)  
* HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT,  
* STRICT
```

ソフトウェアに関する重要なお知らせ（続き）

* LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY
 * OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF
 * SUCH DAMAGE.
 *
 * The licence and distribution terms for any publically available version or
 * derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be
 * copied and put under another distribution licence
 * [including the GNU Public Licence.]
 */

(14) tinysql-2.5.3

/*
 www.sourceforge.net/projects/tinysql
 Original code (2.0 and earlier)copyright (c) 2000-2006 Lee Thomason (www.
 grinninglizard.com)

This software is provided 'as-is', without any express or implied warranty. In no event will
 the authors be held liable for any damages arising from the use of this software.

Permission is granted to anyone to use this software for any purpose, including
 commercial applications, and to alter it and redistribute it freely, subject to the following
 restrictions:

1. The origin of this software must not be misrepresented; you must not claim that you
 wrote the original software. If you use this software in a product, an acknowledgment in
 the product documentation would be appreciated but is not required.
2. Altered source versions must be plainly marked as such, and must not be
 misrepresented as being the original software.
3. This notice may not be removed or altered from any source distribution.

*/

(15) zlib-1.2.3

zlib.h -- interface of the 'zlib' general purpose compression library version 1.2.3, July 18th,
 2005

Copyright (C) 1995-2005 Jean-loup Gailly and Mark Adler

This software is provided 'as-is', without any express or implied warranty. In no event will
 the authors be held liable for any damages arising from the use of this software.

Permission is granted to anyone to use this software for any purpose, including
 commercial applications, and to alter it and redistribute it freely, subject to the following
 restrictions:

1. The origin of this software must not be misrepresented; you must not claim that you
 wrote the original software. If you use this software in a product, an acknowledgment
 in the product documentation would be appreciated but is not required.
2. Altered source versions must be plainly marked as such, and must not be
 misrepresented as being the original software.
3. This notice may not be removed or altered from any source distribution.

Jean-loup Gailly	Mark Adler
jloup@gzip.org	madler@alumni.caltech.edu

The data format used by the zlib library is described by RFCs (Request for Comments)
 1950 to 1952 in the files <http://www.ietf.org/rfc/rfc1950.txt> (zlib format), [rfc1951.txt](http://www.ietf.org/rfc/rfc1951.txt)
 (deflate format) and [rfc1952.txt](http://www.ietf.org/rfc/rfc1952.txt) (gzip format).

エソテリック株式会社

〒206-8530 東京都多摩市落合 1-47

<https://www.esoteric.jp/jp/>

この製品の取り扱いなどに関するお問い合わせ

AVお客様相談室 〒206-8530 東京都多摩市落合 1-47

042-356-9235 携帯電話、IP 電話をご利用の場合

0570-000-701  固定電話をご利用の場合

FAX : 042-356-9242

受付時間は、10:00 ~ 12:00/13:00 ~ 17:00 です。

(土・日・祝日・弊社指定休日を除く)

故障・修理や保守についてのお問い合わせ

ティアック修理センター 〒358-0026 埼玉県入間市小谷田 858

04-2901-1033 携帯電話、IP 電話をご利用の場合

0570-000-501  固定電話をご利用の場合

FAX : 04-2901-1036

受付時間は、9:30 ~ 12:00/13:00 ~ 17:00 です。

(土・日・祝日・弊社指定休日を除く)

● 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

ESOTERIC